

# ゾディアカル（黄道帯12宮）コース ノスティック秘教占星術

V. M. サマエル・アウン・ベオール  
水瓶座、新時代のマイトレーヤ仏陀、KALKI AVATAR

## <序>

この秘教占星術コースは人類に捧げるものである。特に学校や宗教やロッジや学派に幻滅を感じるすべての人に捧げるものである。心の奥底からの自己教育や真の実践的知識のこのコースは、そういった人々のものである。

知識には2種類ある。目の教義と心の教義である。目の教義は心霊的な論理に満足する人々の為のもので、心の教義は真正なイニシエートの為のものである。目の教義にはいわゆる心霊的学校の全てのメンバーが属す。そして彼らの概念と数と同じほど、著作者の意見がある。心の教義には宇宙白友愛会の全てのマスターが属する。何故ならそこに唯一無二のこの知識の原初の真実があるからである。目の教義は演繹（推論）を通して我々のところへ来る。そして心の教義は直観を通じてやって来る。前者はインテレクトで生み出され、後者は内なるマスターによる。一方は人間で他方は神である。

目の教義はマインドを強化する。それ故マインドは欲望の住処である。マインドは思考し論理から判断を下し、分析し、結論を引き出す。そして誤った行動へと導く。内なるマスターは分析も、論理からの判断もしない。何故なら、内なるマスターの声は直観の声だからである。心の教義は知識の広間へと扉を開けている。

学校は既に自らの提供すべきものは総て与えてしまっている。知識のセンターは、今やビジネスの場へと変えられている。どのセンターにもそこに属すアデプトや生徒が知識を求めて外へ行くことを禁じる暴君がいる。あちこちで禁止や破門や脅かしが行なわれたり、いつも物事を明日へと伸ばし、パスワードとかお守りとか他の学校にはないそこにしかない秘密とやらで大きな論争を生んだりする。

我々はマスターへの媚、諂いを求めているのでもなく、薄情な取り巻きに興味があるわけでもない。我々は柱となる人を導いているのである。我々は論理的考えと正確な概念をもって辿るべき道を示すので誰でもが自分の内なるマスター、あなた方一人一人の内に沈黙の内に住まわれる存在へと達するのである。叡知は内なる自身に属し、美德と賜物は偽りの見せかけとか、まやかしの謙虚なのではなく大変な現実であることをあなた方に言うておく。そしてその美德と賜物が我々をパワフルで巨大なオーク（樅）の木へと変えるので、マインドの弱さや黒魔術師達の脅かしや暴君の妬み等を我々の強いパーソナリティーに対して粉碎できるということも伝えておく。

このコースはあらゆる学校に反逆する全ての人、マスター達を信じない全ての人、あらゆる信仰に満足しない全ての人、そして自分の中に少しでも人間性と愛の火花をまだ残している全ての人々の為のものである。

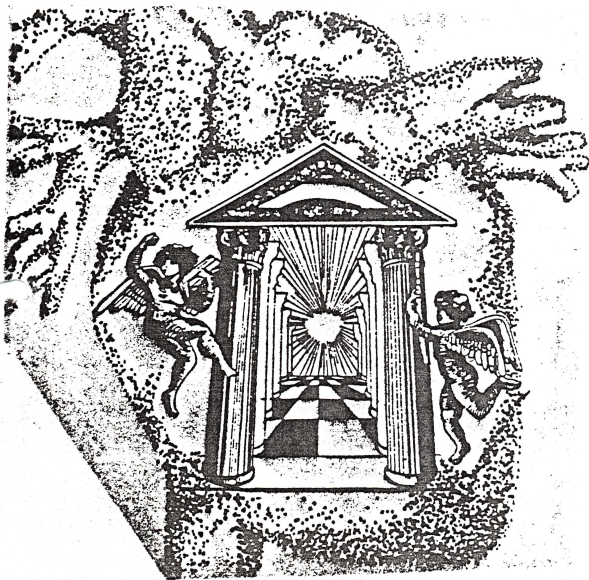
我々は誰かの持つお金に関心があるのでもなく毎月の報酬や煉瓦造りの寺院、たとえそれがセメント造りでも粘土造りの寺院でもそういったものに関心があるのでもない。何故ならば我々は魂のカテドラル（寺院）への意識ある訪問者であるから、そして我々は叡知は魂のものであることを知っているからである。媚、諂いは我々を疲労させる。賛美は、秘密の内において絶え間なく我々を見守る聖なる父に対してのみためされるべきである。

我々は後に従う者を求めているのではない。我々が欲するのは一人一人が自分自身に、つまり各自の内なるマスターに、聖なる内的自身に従うことのみである。何故なら「彼」のみが我々を救い栄光を与えるからである。

「私は誰か人のあとを追うのではない。故に誰も私のあとを追うべきでない。」  
人間は人類の叡知—生命のパン（糧）を捧げる。真実はあなたを自由にするであ  
ろう。

喜劇や見せかけは、もういらぬ。贗の神秘主義や偽りの学校ももういらぬ。  
生きている現実を望む。そういった真実の現実を見、聞き、触れることができる  
よう我々自身を準備することを望む。世界の全ての繋がりを破る我々の意志の剣  
を取ろう、自由の為の大変な戦いに我々自身を直面させよう。何故ならば我々は、  
救済は人間の中にあることを知っているから。

サマエル・アウン・ベオール



ノーシスを学ぶ者の為の  
秘教的ゾディアカル  
(黄道帯12宮)コース

白羊宮 (牡羊座)

3月21日 ~ 4月19日

支配する体の部分 :	頭
金属 :	鉄
石 :	ルビー・ダイヤモンド
香 :	ミルラ (没薬)
木 :	樺
花 :	赤いカーネーション
惑星 :	火星
色 :	赤
自然界の要素 :	火
キーワード :	アクション (行動)
曜日 :	火曜
支配主 :	サマエル

親愛なる生徒達よ、

秘教占星術を始めるにあたり、ポジティブなオリエンテーションとして役立つ幾つかの重要な説明をすべきであろう。

あらゆる星座にある太陽、惑星、月のような衛星あるいは彗星などのひとつひとつの星の核には常に「ハートの寺院 (中心寺院)」が存在する。そこにはそれぞれの星の知性の秘密の住処である。つまり、無窮の宇宙全体はそういったハートによってできたひとつのシステムである。この理由により、秘教占星術は光とハートの宗教であるということがわかる。

惑星にはそれぞれの星の支配主がある。

ガブリエルは月の主。

ラファエルは水星の主。

ウリエルは金星の主。

ミカエルは太陽の主。

サマエルは火星の主。

サチャリエルは木星の主。

オリフィエルは土星の主。

これらの支配主は天使の九段階中第四階級の大天使である7つの存在である。先ほども述べたように彼らはハートの寺院に住む。そしてそれゆえ、秘教占星術は光と愛の宗教である。

世界の全歴史は七つの時代に要約され、この7つの大天使は各時代ごとに分担で世界を支配する。

七つの惑星は言いようのないほどの神聖なメロディーで創造主の言葉を奏でる高次のリラの弦である。

太陽系全体は偉大なる存在、つまり、太陽系の「ロゴス」、「神聖」なるもの神々しい体となるべく生じたのである。

遙か遠くから見える太陽系は言いようのないほどの無窮の宇宙を遊泳する人のように見える。

第四階級の7つの大天使は第三階級以上の天使の臣、そして、この太陽系の宇宙的進化の統治者となるべく生じたと言えよう。

ところであなた方はどの輪にも軸があることを知っている。それなら、あらゆる集合体の中心には動きの基点が存在することも理解できると思う。

中心のみがその集合体を支配することができる。そして中心であるのは大天使

である。だから我々は星の知性の住処であるハートの寺院があらゆる星に存在すると断言する。これら天体の知性はまさに無窮の宇宙の真の統治者であり、我々人間の運命の支配者であり司る主である。

一般的な占星術では例えば次のようなことを言う。土星と火星の矩（90度の角度の時）はあなたに災難をもたらすとか、金星と火星の衝（正反対の方向）は失恋をもたらすとかである。しかし一般的な占星術のこういった予想は数学的計算が正確である時でさえ必ずしも果たされない。なぜならこれらの星を支配する力は盲目的な力ではないからである。

これらの力はまさに天体の知性の光線であり、これらのマスター達は星占いが矩や衝に満ちている時でさえ、人間の総ての出来事を修正することができる。故に計算による占星術は正確ではない、というのは錬金術の魔術師であることなしに真の占星術者になることはできないと考えるからである。偉大なる魔術師、  
\* Iamblichus  
イアンブリクスは天体の知性を呼び、物質の世界に彼らを物質化させ彼らと語った。そして、イアンブリクスは彼らを通して偉大な驚異を達成したのである。

神聖な魔術は「魔術師」の「内なる自身」を通してのみ実践されうる。内なる自身は我々の魂、我々の「至高なる自身」、我々の天使である。自然は偉大なる錬金術の実験室であることもまた本当である。そこにはエッセンスが存在し、あらゆるタイプの出来事が結びつけられている。

心の教義の学校では我々は次の黄金の法則を学ばなければならない。

「聖なる法の獅子は天秤と戦う」

「下位の法が高位の法に超越される時、高位の法は下位の法を洗い清める。」

\*イアンブリクス Iamblichus

西暦4世紀。新プラトン派に属する。

第5の光線のリーダー、科学のマスター・ヒラリオンの転生。

この二つの黄金の法則を完全に理解するならば、我々自身の天宮図における総ての矩と衝の不吉な結果を無効にすることができる。このことはこの二つの黄金の法則を通して、我々はカルマを破壊し人生に勝利できることを意味する。マインドにこの二つの黄金の法則を正しく記録しなさい。次のレッスン（星座）でそのフォーミュラの操作法を教える。

この秘教占星術のコースはあなた方を魔術師や錬金術者に変換させ、あなた方オカルトパワーの隠れたる力の全てを開発するであろう。あなた方は自分自身を不可視にする方法や、惑星の神々に祈念し物質の世界に具体化する方法や、彼らと語る方法を知アトであろう。カルマを殺す方法や自分自身の目的や他の人々への援助の為に星の光線を操作することを可能とするある神秘的フォーミュラを通して人生に成功する深遠な術を知るであろう。さて、次のことを述べてこのレッスンの前置きを終えよう。総ての天体の時の扉には二つの柱が存在する。一方は白で他方は黒である。右の柱は「JACHIN（ジャキン）」と呼ばれ左の柱は「BOAZ（ボアス）」と呼ばれる。

優秀な生徒であるあなた方は、またそれぞれの柱に門番がいることも知らなくてはならない。右の柱の門番は手に正義の牧杖を持ち左の柱の門番は手に書を持つ。

ジャキンとボアスは光線を操作し物質の世界に事象を誘発するために、各々の星のハートの寺院にあなた方が入ることが許される二つの「パスワード」である。

親愛なる生徒達よ、

さあ、これから完全に白羊宮（牡羊座）のエソテリックな教えに入ろう。頭を支配する黄道帯の白羊宮（牡羊座）は戦士、戦いの火星の館である。鉄がその金属で石がルビー、火がその自然のエレメントである。

これ故、白羊宮（牡羊座）生まれの者は好戦的で激怒したりする。彼らは火星のエネルギーを強く持つので大事業を始めることができると感じるし、それを良い結果へと持ってもいく。

一般的に彼らは愛においては幸せではない。彼らの持つ簡単に変わる移り気が不満や離婚を導く。

白羊宮（牡羊座）の間、脳下垂体と松果腺を目覚めさせるため、頭を光で満たさなければならない。超視覚のパワーはこれら二つの小さな腺に存在する。この二つの腺は極微細管によってつながれている。この微細管は死体ではすでに消滅してしまっている。二つの腺が輝くオーラを自由に交差する時その人は超視覚者になり微妙な世界の総ての驚異を認識する。そして総ての神秘や人々の考えを知りようになり星の神々に語りかけることができるようになるであろう。

この秘密を隠しておくことができようか。正覚を得た超視覚者は光と炎に満ちている。

白羊宮（牡羊座）のエクササイズは次の通りである。

## エクササイズ

椅子に楽に座りリラックスして5分間何も考えずにいる。

「内なる自身」に次のように祈る。「聖なる父、私の真実の存在であるあなた、牡羊座のメイン・スター（主要な星）に行かれ私の卑しい家に牡羊座の知性の長をお連れ下さるよう願います。そして、牡羊座の知性の長が私の脳を治療し私の  
オカルトパワー  
頭のすべての隠れたる力を目覚めさせますように。」

次にハートの上で両手を交差させ右の柱の門番に小さくお辞儀をし挨拶をする。深く息を吸う。吐きながらパスワードの「ジャキン」を発音する。直ちに同じ挨拶を左の門番にしてパスワードの「ボアス」を発音する。もう一度内なる自身に祈る。「聖なる父、寺院の奥に向けて内に聖なる歩を7歩すすめたまえ。牡羊座の知性の長の足下に跪き、彼がここに来たり、私の脳のパワーを目覚めさせ頭を光で溢れさせますように願いたまえ。」そしてマントラ『AOM』を唱える。このマントラを正確に発音するには口を開いて母音『ア』、唇を丸くして母音『オ』を、そして口を閉じて『ム』と発音する：アーオームー

頭全体が光で溢れるように想像して4回唱える。椅子から立ち上がる。右手を前に伸ばし、頭を動かす。前に7回、後ろに7回、右回りに7回、左回りに7回、首を回す。その時、脳の総ての腺の中で光が溢れ活動することを想像する。

松果腺は火星の影響を受け、脳下垂体は金星の影響を受ける。脳下垂体は眠りを生じ松果腺は我々を戦おうとさせる。このように金星が眠りを欲する一方で火星は戦い続けることを欲する。

白羊宮（牡羊座）の間、毎日1時間、母音『I』を唱える： イー

この音は松果腺を振動させ最後には、あなたは超視覚者となるであろう。開発されるなら松果腺は我々を超人に変換させるが退化するなら我々を白痴にする。純潔であるものには開発が見られるが、姦淫するものには退化が見られる。

だから素晴らしい生徒である皆さん、もし天使へと変換を望むなら、すべての性交は禁じられるのである。

松果腺はブラフマの窓である。魔術師にとって蓄積の泉である。毎晩眠りにつく前に次のエクササイズをする。

椅子にリラックスして座る。30分間眼を閉じる。マインドから総ての考えを取り除く。牡羊座からの炎が天から降り松果腺を通して火の柱に貫くことを想像する。

松果腺は脳の上部に位置し、あらゆる時空を超越したものを見る力はその中に存在する。

白羊宮（牡羊座）のエクササイズを粘り強くコンスタントに実行するなら目覚めた超視覚者になるであろう。このエクササイズの間、白羊宮（牡羊座）の天使団は援助を与えパワーを目覚めさせ脳を特別な治療で癒すであろう。そして我々はこの天使団のパワーを他の人々の治療の為に使うことができるようになるであろう。

白羊宮（牡羊座）は火星の館であり火星は戦いの星である。火星の赤い天使団は人間にアストラル体を与えた。サマエルはアストラル界における、つまりサマエルと彼の戦士達の最高指揮官である。毎日エーテルのバイブレーションであるタットワで瞑想し、我々はアストラル体のパワーを活動させるのである。

Tattwa Tej...テツ+ス

タットワ、つまり火のエーテルはあらゆる炎を導く根本の原因である。

兄弟として

あなた方のクラスの教師、

サマエル・アウン・ベオール

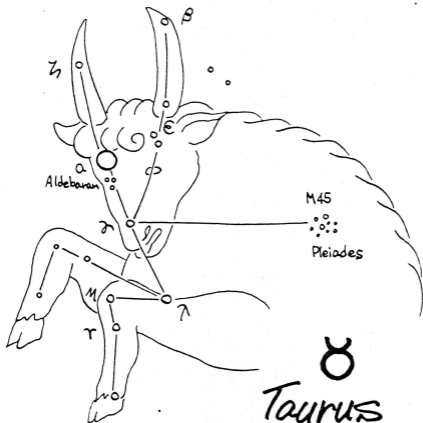


ゾディアカル（黄道帯12宮）コース

ノスティック秘教占星術

金牛宮（牡牛座）

4月20日～5月19日



支配する体の部分：	首、うなじ、耳
金属：	銅
石：	エメラルド、めのう
香：	香草
木：	樺（かば）
花：	さんざし
惑星：	金星
色：	緑
自然界の要素：	土
キーワード：	愛
曜日：	金曜
支配主：	ウリエル

親愛なる生徒たちよ、

前の章で、次の二つの黄金の法則を解く手がかりをお教えすると約束した。

「聖なる法の獅子は天秤と戦う」

「下位の法が高位の法に超越される時、高位の法は下位の法を洗い清める」

この二つの黄金の法への回答は、次の第三の言葉の中に見つけられる。

「あなたの負債を払うために立派な行いを成せ」

よろしい。では天秤を想像しなさい。一方の皿にあなたの立派な行いを乗せ、もう一方にそうでない行いと、それに伴うカルマを乗せなさい。

もし、天秤がカルマの皿のほうに傾くのであれば、立派な行いの皿にもっと重りを加え対抗することができる。そして立派な行いのほうへ傾けさせ、カルマを消し去ることができるであろう。

カルマを司る長達の寺院は精妙な世界に存在し、ジャッカルがこれら運命の審判達の中の大長官である。この偉大なる存在はコスミック（宇宙）法廷の最高審判官である。その姿はジャッカルの頭を持つ偉大なる人の姿をしている。

コスミック（宇宙）銀行に資本を蓄積してきてあるのなら、負債を払い、苦しみから逃れることになる。宇宙銀行に毎日「新しい貯金」（善行）をしながら生きる者は、古い負債（カルマ）を払うためのものを常に持っていると言えよう。負債の返済に関して常に心に留めておくべきことは「アナロジー（類比）の法」と、「相応の法」である。カルマの類比はドルマの類比と戦う。

\* 類比 全く独立の事物の間に関係に完全な類似性があること。

カルマとダルマ：この二つの東洋の語は「罰」と「報い」を意味する。より哲学的に説明しよう。悪い結果は悪い行いが原因であり—原因の修正は、結果の修正を意味する。何故なら結果は原因が別の形で再現されたものに他ならないからである。自由を奪われたくない？それなら他の人に自由を与えなさい。自分の子供が死にそうなのですか？あなたの同胞を治療しなさい。不幸なら貴方に残されている全ての物を餌えた者に与え、全ての努力を他の人々のために捧げなさい。祈りのとき、カルマの長に乞い願いなさい。それは聞き届けられるであろう。

親愛なる生徒達よ、忘れてはならない。審判は至高の慈悲と法への不従順の結果である。だからこそ、二つの黄金の法則を教え、どうやってカルマを殺すかを説明したのである。

今回は星座の光線の扱い方について教えよう。

持つ者は受け取る。より与えれば、与えるほど、より受け取る。これは法である。

しかし、悪の仕事をする者は自身の行為の犠牲者となるであろう。

何故人々は苦しむのか？何故、人々はその苦しみが神の責任でないときに神を冒とくするのか？我々自身が、我々の運命の創造者なのである。自分自身を浄化しなさい。親愛なる生徒たちよ、自身を清めなさい。

人生には三つの永遠なるものがある：法、ニルバーナ、そして宇宙（ユニバース）。

では、牡牛座（金牛宮）のエクササイズの説明をしよう。牡牛座を形成する星々は、金星の館である。愛の星、そして夜明けのたとえようもない星である。したがって、牡牛座の人は金星の特性である多情な性質を持つ。そして恋愛に情熱を燃やし、いつも大きな幻滅を味わう。

牡牛座の人々は、この星のグループを象徴する雄牛のように従順で勤勉である。しかしまた、雄牛のように時々攻撃的になる。彼らは粘り強く、大食家で、ロマンティックであり、官能的である。音楽やダンスを愛する。彼等は手を使うあらゆるタイプの芸術に才能がある。

牡牛座は喉頭と首を司る。喉頭はまた、性的な子宮であり、言葉はそこから生まれる。創造的なその喉頭は未来の神聖人間の性器官となるであろう。

クングリーニの性的な火は言葉の創造者になる。これまでの著作、「完全なる結婚」、「革新のベル（The Revolution of Bel）」、「秘教医術と実践魔術（Treatise of Occult Medicin and Practical Magic）」の中ですでにクングリーニについて広く述べてきた。又、クングリーニの眠れるプリンセスを覚ますための偉大なる神秘、至高の秘密について教えてきた。

言葉は自然界の四大要素と密接に関係がある。そのため、神秘なる古代の寺院のイニシエート達はアルカディア（古代ギリシャの理想郷）の大異変（カタストロフィ）については、話すことで又それを起こしてしまうのではないかと恐れ、語ることを禁じられていた。古代ギリシャの神官は言葉が自

然界の要素と関連があり、大異変について話すことはそれを再び呼び起こすのと同じであるということをよく知っていた。このため、イニシエート達は古代の大異変について公に決して語らなかった。

悪口は我々のあとをついて来て、後にそれを免した人の上に復讐の光線のように降り注ぐ。

性的行為による姦淫だけでなく、言葉による別の種類の姦淫がある。

言葉の不適切な使用もまた姦淫である。言葉による姦淫はアストラルの幼虫と、不運を創造する。人々がいかにも言葉を濫用し、世界を悲しみで満たしているかを思うと大変悲しい。「中傷」は全ての不敬の言葉のうち、最悪のものである。

言葉と言葉使いの完成を、自分自身の内に成し遂げなければならない。言葉の持つ影響力を理解すべきである。言葉の生まれ出る、性器官の使い方を学ぶべきである。

言葉の使い方を学ぶ必要を感じないだろうか？。それは親愛なる生徒達よ、私の言葉に耳を傾けなさい—我々聖なるイニシエート大学のメンバーは、「思考」によってどんなことも創造し、「言葉」によってそれを物質化（現実化）できる。

名前や名字を話しに出すときは注意深くしなさい—それが中傷にならないように。

あなたが哲学者なら、「理論」達と戦いなさい。しかし決してその理論のリーダーの個人的生活についてとやかく言わないように。リーダーについて話すとき、彼の教義について話しなさい。しかし決して、彼の個人生活を話に持ちだしてはならない。人は皆それぞれであり、誰も他人の個人生活について干渉すべきではない。

沈黙を守るべきときに話をするというのは、話すべきときに黙っているのと同じくらい悪いことである。話すことが罪であり、黙っていることがまた罪であるという時もある。犯罪的沈黙があり、また恥ずべき言葉がある。語るべき時に語り、黙すべき時に黙さねばならない。

自らの内に言葉の完成を成し遂げねばならない。我々の内に言葉の叡智を成し遂げねばならない。

人々は誠実（裏表のないこと）という概念を失ってきた。今日、人間の言葉は誠実さを伴わない。そして人々は誠実さの欠如のため、苦しむ。今日、人間の言葉は嘘と、偽善に満ちている。

嘘というものが何であるか知っているだろうか？

不正直な言葉は怪物（モンスター）をつくる。

怪物のような子供の誕生を見たことがあるだろうか？それは過去の転生において発声した偽りの言葉によるカルマである。我々は誠実性を非常に崇拝する。嘘つきは決して我々の白い島（White Island）へ到着することはない。

ゾディアカル（黄道帯12宮）コースも牡牛座まできた。このサインは首を支配し、金星と火星の新たな戦いはここに繰り返される。

金星は甲状腺を司り、火星は副甲状腺を司る。これは金星と火星の永遠の戦いである。一方の腺が唾液をつくり、他方が乾かす。この戦いは我々の全ての器官で繰り広げられている。

金星は愛に関連し、火星は戦争に関連する。占星術者は星の光彩の使い方を学ぶ必要がある。

悲痛に支配されている家庭を知っているのか？ 協調的でありたいのか？ 求婚者に捨てられ、不幸な可愛そうな女性を知っているのか？ 彼女を助けたいというのか？ それならば私のことに耳を傾けなさい。金星の光の使い方を教えよう。

椅子に柔に座る。

目を閉じる。

マインドから全ての世俗的考えを取り除き、内なるマスターに集中し次のように祈る。

## 祈り

「聖なる父、私の真実の存在であるあなた。心の底から願います。「ウリエル」の足下に跪き、私の願いのために金星の「ハートの寺院（中心寺院）」にお入りください。（自分の願いを乞う）」

メンタリーに右の柱の門番に挨拶する。深く息を吸い、パスワード「ジャキン」を発音する。次に同じように、左の柱の門番に「ボアス」と挨拶する。深く息を吸い、内なるマスターに祈る。

「我が主、祈願をするために寺院のうちに7歩お進み下さい。我が父、我が主、我が神」ひとたび祈願が成されれば、「ウリエル」に天使の合唱隊が仕事を成し遂げるように心から願う。（歌いながら天使たちは創造する。）

金星の天使が我々の祈願を聞き届けるなら、金星の核の寺院に住む天使の合唱隊（金星の天使の息子たち）が我々の願いを成就するために「聖なる言語」で歌い始めるであろう。

このようにして、言語の軍団は言葉という手段を使って創造を行う。

神に対してどんな冒とく的な人でも、そう言った瞬間に空を見たならば、金星が滅多に見られないほど素晴らしい輝くのを見るだろう。金星の元のきらめきを考えるなら、さらに増した輝きに驚くであろう。

金星のインディゴブルー（藍色）の天使団は我々にコーザル体、あるいは意志体（Body of Will）を与えた。カルマがそれを許すとき、彼等は我々の願いをかええる。しかしながら、祈願

たに何か戦の病気があり、牡牛座の天才たちに治療を願うのなら、彼等から治療を受け取ることができるであろう。そしてこのようなパワーを他の人々の治療のために利用することもできる。

毎日一時間、母音「E」を発音する。「エー——」

この母音の振動は、内なる超聴覚の力を呼び覚ますであろう。

母音「エー」は甲状腺、つまり魔術の耳のセンターを振動させる。

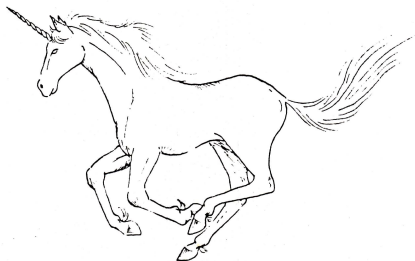
母音「エー」は又メンタル体の超聴覚を開発する。

母音「エー」はメンタル体を振動させ、我々が物事を総合的に考えるようにさせ、言葉の深い意味にまで浸透することができるパワーを与える。

兄弟として

あなた方のクラスの教師、

サマエル・アウン・ベオール



ゾディアカル（黄道帯12宮）コース

ノスティック秘教占星術

双子宫（双子座） 5月20日～6月20日



支配する体の部分：	腕，肩，肺気管支系
金属	： 水銀
石	： 金柱石 (Golden Beryl)
香	： 乳香
木	： すいかずら
花	： 菊
惑星	： 水星
色	： オレンジ，やまぶき
自然界の要素	： 空気
キーワード	： 理性
曜日	： 水曜
支配主	： ラファエル

親愛なる生徒たちよ、

あなた方はこれまでに金牛宮（牡牛座）のエクササイズを実践してきた。今回は輝かしい星座、双子宮（双子座）に入る。

双子宮は腕，肺，足を司り，本質的に水星の特質を持つ。

双子宮は水星の館である。そして金属は水銀，石は金柱石 (Golden Beryl)，色は黄色である。

水星の神々はすでに，人類にアストラル・トリップの方法を教えている。従ってこのコースを学ぶ者は，当然アストラル・トリップを学ぶことになる。真の神秘スクールはアストラル界にある。それゆえ，アストラル体で「出る」ことを学ぶ必要がある。内なる教え（インストラクション）の聖域への入り方を学ぶ必要がある。それは偉大なる白ロジのマスターの方々から直接教えを受けるためである。

偉大なるインストラクターの方々から直接教えを受けるため，思いのままアストラル界の聖域に入ることを学ぶときがきた。理論を捨て，実際に役立つものへ直接飛び立つときが来たのである。

水星の神々は援助を願う者全てを助ける。

未来の時代において，人間はもはや刑務所の独房のような肉体に閉じ込められたままである事はないであろう。人間の肉体は，心地よい，豪華な寺院となるであろう。人間はいつでも望むときに肉体を出たり入ったりすることを習得するであろう。

水星は事実，宇宙の夜 (cosmic night) から生じた。そして時がたつにつれ，水星の閃光が放つ宇宙的な影響はますます激しくなっていくだろう。

あなた方はまた、アストラル体で「惑星」の寺院の扉を通り、そこへ「入る」ことも学ぶ必要がある。双子座の主なエクササイズの目的は、アストラル体の使い方、操り方を学ぶことである。双子座ではまた「ヒーナス（J INN）」の秘術を教える。それは肉体を一瞬にして、地上のへんびな地にも、いかなる遠隔の地にも「運ぶ」ことができるものである。ではその方法をいくつか述べよう。

- 1) 水平にベッドに横たわる。どの筋肉もアストラル体を圧迫しないよう、肉体をリラックスさせる。眠気を感じながらマントラ「RUSTY（ルスティ）」を唱える。

R u u u u u u s u u u u u t i i i i i i i

このマントラはメンタリーに唱える。その時あなた方は「自分の眠りの見張り人（ガイ）」になり眠ってしまわないようにする。

うつらうつらして、もうすぐ眠りに落ちると思ったらベッドから起き上がり部屋を出る。でもどのように？どんな方法で？ほとんどの生徒は、これは催眠術や自己暗示などのエクササイズだと考える。しかし残念なことにそれは間違いである。ここでは催眠術や、自己暗示を使わない。単にベッドから自然に起き上がればよいのである。そうすればアストラル体と、肉体の分離法が分かるであろう。ただ立ち上がり、部屋を出ることが必要なだけである。

部屋を出たら空中に浮かぶつもりで小さくホップ（ひょい、と跳ぶ）する。浮かんだなら数秒のうちにノスティック教会へとトランスポートできるであろう。もし浮かばなかったら、もう一度ベッドに戻り、繰り返して試みる。すぐにできる者もあるし、何ヶ月も、何年もかかる者もある。しかし粘り強く試みるのならば、最後には成功する。

- 2) ほとんど聞こえないくらいの音だが、キーノート（主音・音階の第一音）は常にあらゆる生き物の脳の中で響いている。このキーノートは人々がそれぞれ属している光線によるもので、小脳の細胞からやって来るようである。ある者はエジプトの光線の小笛（フルート）の音を聞き、ある者は東洋の光線の「ドラ（ゴング）」の音を聞いたり、また月の光線の、海の騒ぎを聞く者もいる。

夜 静寂の訪れるとき、全ての思考を静めるのなら、自分自身のキーノートが聞こえてくる。その時、その音を自分の意志で大きく振動させることができる。その音が大きくなり、身体中に響き渡り肉体が半分麻痺したなら、ベッドから抜けだし、ノスティック教会へと行くべきである。そこでは白同盟のマスターの方々が限りなき幸福のうちに貴方を迎えるであろう。

- 3) もし自分がある場所にいる夢を見ていて、目が覚めてしまったとしても、動かずにもう一度眠ろうとする。そしてさっきの夢の場所へとイメージをもっていき、再びそこに自分がいると感じ、自分の意志をその夢の場所に集中しながら、先ほどまで展開していた夢を続けてみようとする。調和のもとに働いたイマジネーション（想像力）と意志の力がこの方法のキー（鍵）である。

キーノート：keynote 脳の中で小さく鳴り響く、人それぞれの主音

4) 眠りに落ちようとするとき、イメージーションと意志の力を調和のもとに一体化し、ある一定の場所に強く集中する。完全な集中でなくてはならない。そして「イメージ」した場所に自信をもって歩き始める。自分は今想像している、と想像してはならない。さもないとこの実験は失敗するからである。イメージした場所に本当に自分がいると感じ、完全にベッドルームのことは忘れなくてはならない。

この実験は、目が覚めている状態から眠りへと移行する過程で行う。イメージした場所にいったなら、自分自身の内なる神にひざまずき、聖なるノスティック教会へとお連れ下さるようにと願う。そこは霊(soul)の深遠なるカテドラル(大聖堂)であり、太陽ロゴス、我らの主、クリストが司祭する寺院である。

5) 普通の眠りの間、霊はあらゆる見なれた場所、良く知っていて馴染んでいる場所をさまよう。そして、うとうとした状態においても霊は日中の取引やら、仕事やらに追われている。このようなことから一日中、自分自身に次のように問いかけるよう習慣づけるべきである。

「今、私はどこにいるのか?」「肉体の中にいるのか?外にいるのか?」そして空間に浮かぶつもりで小さくホップする。浮かんだら当然、肉体の外にいるからであり、浮かばなかったら、まだ肉と骨の中において道路を歩いているのである。けれども何とか空中に浮くことができたなら、貴方のうちなる自身に聖なるノスティック教会へお連れくださるようお願い下さい。

この問いは、何か自分の注意を引くもの、例えば人込みとか、お葬式の行列とか、何か見慣れないものなどを前にして実行する。これは大変な秘訣で、多くの人がこれによって意識を目覚めさせてきている。この問いをしながら空中に浮かび、自分は肉体の外にあることや、肉体はベッドで眠っていることを認識したのである。「肉体が眠るとき、霊はさまようからである。」この方法で無意識のうとうとした眠りから、霊は外に出ることができる。日中、このエクササイズに慣れておくべきである。そうすれば潜在意識に記録され、眠りの間も同じように行動するようになる。

6) 眠りに落ちる前にベッドで次の自己暗示のエクササイズをする。「私はこれから眠る。そしてアストラル体になるのだから、私は今どこにでもいける。私は私である。私は私であることを覚えている。自分自身を認識し、そして自らをノスティック教会へと導くであろう。」  
30分間自己暗示をかけ、安らかに眠りにつく。

アストラル界において正確に自分自身を認識するであろう。目が覚めた後、すぐ動いてはならない。どこにいたかを思い出さよう、記憶を取り戻すエクササイズをする。

7) 次のマントラを唱えながら眠りに着く。「OMNISU BAUM IGUNEOS (オムニスバウム イグネオス)」

Ommmmnnisssssbaaaaauuuuuummmmmiiiiignnne  
eeeeooooosssss

マントラを音節に分け、それぞれの母音を伸ばし、内なる本質に、自分を肉体から抜け出させてくださるよう祈りながら唱える。そしてそっとベッドから抜け出し空間に浮かび、ノスティック教会へと向かう。

以上がアストラル・トリップの7つの方法である。

魔術師 (Theurgist) が肉体を離れるとき、次のようにして惑星の寺院へと旅する。

アストラル体は、ある星のハートの寺院 (中心寺院) へ到達しようと同心円を作って歩き始める。

瞬時にパノラマが代わり、魔術師は惑星の寺院の前にたどり着き、そして「ジャキン」と「ボアス」の柱の門番の前に行く。そして、すでに習った挨拶を正確にし、星の中心寺院の内に7歩、歩みを進め惑星の天才の足下にひざまずく。もし惑星の天才が「願いは聞き届けられた。」と言われるなら、「合唱」を請いなさい。天才が合図をすると、言葉 (verb) の軍団は聖なる言語で「我々が願う仕事」を成し遂げるため歌い始める。言葉 (verb) の軍団は、ことば (word) によって創造する。この荘厳な瞬間に我々はエクスタシーに至る。自然界全体が惑星の神々の前にひざまずき、言語に絶するカント (旋律) は我々をあふれんばかりの光の中へと上昇させる。

最も神々しい感動的メロディーが無限の宇宙にこだまして、川を流れる水は沈黙のうちに囁く。

「神はかくの如し」と。霊が解放されるこの幸福の瞬間を表現する術はない。

そこでは過去と未来は、永遠なる今へと和合し「永遠の婚礼」へと我らを招く天国の聖人たちの声を聞き取る。

学徒が天体神通術 (astrotheurgy) に充分熟練したとき、惑星の神々はあなた方を助修士 (lay brother) として迎え、灰色の礼服 (ローブ) と杖 (ロッド) を与える。これは秘教的占星術者のローブ、魔術者の神聖なるローブ、また真の錬金術者のローブである。彼が自らの叡智の内に進むにつれ、それぞれにあった階級を受けていく。

そこでは実に様々な錬金術的要素を組み合わせ、それぞれの宇宙世界へ、数々の異なった出来事を生み出すことを学ぶ。

寺院の錬金術の実験室では、惑星の子供の天才たちが、物質レベルに様々な出来事を生み出すため働いているのを見てあなた方は圧倒されるだろう。

サマエル-鉄の仕事をする者-は、火星の鍛冶場で働く。

金星の愛の実験室にいる、愛と芸術の天才アナエルは、ブロンドの神とバラ色の頬をもつ12才の少年のようである。

筆舌に尽くしがたい神聖なるミカエルは、太陽の中心から創造を司る。そこは太陽系の生命が鼓動するところ。その深淵に降りていく勇気をあなた方のうちにだれが持つだろうか。

水星の天才ラファエルは、長い髪と火の色の顔をした老人のようである。水星の寺院におり、原子を破壊する三叉槍 (トライデント) を手に持つ。コスミック・マインドを震え上がらせる恐ろしい君

主の様にも見える。彼の聖なる命令に逆らうことのできる者は、およそいないだろう。

白いローブと白のケープをまとわれたその方は誰であろう？その方の前では天使たちの縦隊（columns）も、悪魔たちの縦隊も震え上がる。

木星の寺院におられる方は、王位を与え、人間の経済を支配する木星の天才サチャリエルである。彼の前では暴君たちも震える。

青白い月の中心には、漁師ガブリエルの寺院がある。海の生命と、女性の涙を司る。

自分の姿を消す方法を学びたいのなら、毎晩ガブリエルに祈りを捧げなさい。やがてあなたの身体を「準備」して下さるでしょう。

良く準備された肉体は、実用的魔術（プラクティカル・マジック）にとって、最も適した素晴らしい道具である。良く準備された身体は不可視になることができる。弾丸も、短剣もよく準備された体を通ることはできない。

天空の長老、法の神オリフィエルについて何と表現したらよいものか。

おお、サターン（土星）、貴方は天から我等に達する正義の剣なり。全人類の生命と財産は、その手の中に。生徒達よ、私の言うことに耳を傾けなさい。いつでも、助けに必要な惑星をそれぞれ選び願いなさい。

火星（マース）は闘いの星。

金星（ヴィーナス）は愛と美に、

水星（マーキュリー）は賢明さ、

土星（サターン）はメランコリック、そして「实际的」。

月（ムーン）は母性的な、

太陽（サン）はリーダー・シップ。

木星（ジュピター）は高尚なる人々の長。

しかし、決して、初めにドアをノックする事と無くこれらの存在の住居に入ることがあってはならない。

黒魔術師は、ドアをノックすること無くこれら天の館に押し入る。白魔術師はドアをまずノックす

る。それぞれの星の扉は、ハートの寺院（中心寺院）である。黒魔術師は泥棒が人の家に入るように星へ侵入する。

光の子たちは、中心寺院を通して入る。

光の子たちは訪問する際、まずその家の長の許しを請う。

星の中心寺院はその星の入口であり、また出口にあたる所である。

我々の地球もまた、中心寺院を持つ。その寺院は地球の天才の住居である。他の星々からの訪問者は、そこを通して入り、そしてまた、そこから出ていく。

地球の天才は誰であろうか？それは我等の主、クリストである。

我々の地球は、天の川の中の、青色に輝く小さな星である。

「聖なる父の住まわれる所には多くの館がある。」

天上の星々は、一つ一つが館であり、その聖なる館の入口が中心寺院である。

あなたが肉体の「外」に入るとき、他の星の住人に来て欲しいと祈るのなら、彼は地球の内からやって来、別れを告げた後、地球の奥深く去っていく彼を見るだろう。彼は地球の内部の扉から出入りするからである。

あなた方はまた、遠くから自分の肉体に呼び掛けることもできる。大地にひざまずき、内なる本質に祈る。

「聖なる父、わが肉体を運び賜え。」すると内なる本質があなたの肉体を、あなたの元へもたらす。肉体の原子は、このようにあなたに告げる。「私はあなたの肉体です。わかるでしょう？」あなたはバジャマ姿の自分の肉体に直面して、ベッドに残してきた、その同じ自分の肉体に直面して大変驚くであろう。その後肉体に次のように命令しなさい。

「私の頭上へジャンプし、松果腺を通り、私のうちには入りなさい」と。肉体はあなたの命令に従い、地球上、どんな遠隔の地にいてもあなたは肉体と一つになるであろう。こうしている時、あなたの部屋に誰か入ってきたとしても、彼等はあなたを見つけられない。そこにはただ、空になったベッドがあるだけである。

ノスティック教会へと、毎週金曜と日曜日に肉体を運ぶことは絶対に必要である。その夜明けに肉と骨を持つ身で、「ノスティックの聖なる塗油」を受けるためである。また遅く遠くから肉体に、来るよう呼び掛けること無しに、ベッドから直接肉体と一緒に抜け出することも可能である。次のマントラを唱えながら眠りにつく。

眠気を持続しながら、ゆっくりとベッドを出る。小さくジャンプをしてみても、自分が膨らんで浮かんでいたら家を出て、ノスティック教会へと向かう。

潜在意識の力は眠りの間、活動的になる。このパワフルなエネルギーが、まさに我々を「アストラル界に肉体を置く」事を可能にするものである。これが「ヒーナス (JINN)」の状態と呼ばれるものである。

崇高なるグル (導師)、ウイラコッチャ (Huiracocha)、マスター アーノルド・クルム・ヘラー (Arnold Krumm Heller) は、その著書——「バラ十字の歴史 (Rosicrucian Novel)」——で、「ヒーナス」の状態について語っている。賢者クルム・ヘラーは、「hugier」、あるいは召使から一通のメモを受け取る指令官モンテネーロ (Montenero) について述べている。モンテネーロ指令官は溜め息を着き、「ついにきたか。」と言われた。そしてチャブルテベック城を去り、チャブルテベック山の道を何度も口笛を吹きながらさまよって歩いた。そしてついに土地の者が、モンテネーロ指令官をチャブルテベック寺院へと導いた。

「これは四次元の現象ですか？」と指令官は尋ねた。土地の者は答えた。「はい、指令官。経験のない者には分かりません。」そしてモンテネーロは肉体と共にあるヒーナスの状態でイニシエーションを受けた。

この高名なクルム・ヘラー (ウイラコッチャ) の全てのワークは、ほんの一握りの人々しか理解していないが、秘儀参入への叡智の泉である。現在、彼の子息バルジファル・クルム・ヘラーは我々とともに喜んで「完全なる結婚」や「革新のベル」を学んでいる。バルジファルは忠実に父親の賢明なる道を継いでいる。

何世紀にも渡る最も深遠な秘儀参入の叡智は、ウイラコッチャの占星学コースの中に収められている。

双子座 (双子座) は空気のサインであり、水星 (マーキュリー) の館である。

水星の神々は人間に靈魂 (the soul-spirit)、あるいはブッディ体 (Buddhic Body) を与えた。水星の天使団の色は黄色、あるいはやまぶき色である。

双子座-双子 (ツイン) の星座-は我々に双子霊を想い起こさせる。

エデンの園で人 (man) が初めて知った女 (woman) は その双子霊である。

双子霊は、その転生の間繰り返して出会い続ける。共にエデンを去ったゆえ、ともにエデンに帰らなければならない。カルマが二人を引き離すとき、二人は言葉で言い表せないほど苦しむ。結婚における真の幸福は、この双子霊の間でのみ可能である。

双子霊の間ではない結婚はカルマ的結婚で言いようもない苦しみがある。

双子宮の人々の特質は強い意志である。偉大な勇気を持ち、多才で旅を好む。彼等の人生は成功と失敗の繰り返してである。豊かに生活を送る時があるかと思うと、悲惨に耐え忍ぶ時もある。非常に理性的だがすぐにいらいらしたりする。双子宮の人々の欠点は頭で全て解決しようとする事である。よく彼等はハート(魂)からくる賢明なる声を無視してしまい、そのためあらゆるタイプの問題や困難を作り出す。

双子宮のエクササイズは次のとおりである。

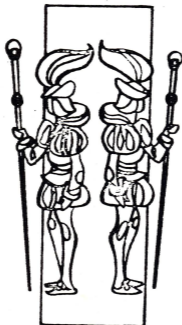
## エクササイズ

ベッドに水平に横たわり、肉体をリラックスさせる。光が肺と気管支に浸透するよう意識を働かせ、5回深呼吸する。息を吸うとき、両手、両足を開き、息を吐くとき閉じる。次に楽に椅子に腰掛け、内なる本質に星々の寺院の神々をお招きするため双子座に行けるよう願う。そうすれば神々が実用的魔術のためにあなたの有機体を準備くださるであろう。

兄弟として

あなた方のクラスの教師

サマエル・アウン・ベオール



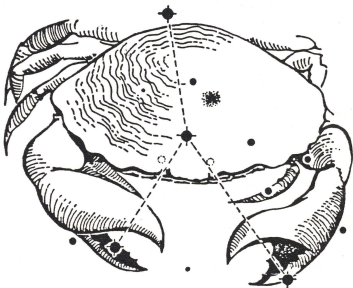
# ゾディアカル（黄道体12宮）コース

ノスティック秘教占星術

## 巨蟹宮（蟹座）

6月21日～7月22日

支配する体の部分	： 胃
金属	： 銀
石	： 真珠
香	： 樟脳
木	： ユーカリ、 桜の木、 すみれ系植物
花	： 白バラ
惑星	： 月
色	： 銀
自然界の要素	： 水
キーワード	： 肥沃
曜日	： 月曜
支配主	： ガブリエル



親愛なる生徒達へ

あなた方は前回双子宮のレッスンを学び実践した。今回は巨蟹宮（蟹座）に入る。

これまでに学んできたことから、我々、ノスティックは本質的に実践的、实际的であることをあなた方は強く感じたと思う。率直に言うなら我々の人生を理論化することに費やすことを好まないのである。我々は枝葉末節ではなく要点を語る。多くの理論にはあきあきした。我々は真の意味で「現実的」である。行動（実行）を望むのであり、理論や病的知識階級インテリジェンスは必要としない。実際行為に移された、その事実を尊重する。我々の向かうところは大きいなる具現である。

あらゆる精神主義者の学校では超現実世界について語るが、我々はより实际的であるが故にそれらを越える。我々は学徒達に、そのような超現実界へアストラル体で、さらには肉と骨を持ったその「肉体」のまま、そして完全に意識のあるポジティブな方法で実際入ることを教える。

超現実世界に肉体が入るということは理論家にとり訳の解らないことのように見えるであろう。それは彼らが理論化すること以外、何も知らないからである。しかし物事を総合的に理解する者にとり、超現実界に肉体が入ることは不思議なことでもなんでもない。それは当然、世界が存在するのと同じ位、昔からあることだからである。そんなに遠か昔の時代ではないが、肉体はアストラル界の中で移動し、進化した。それが何か不思議なことであろうか？

前置きをこれ位にして今回の巨蟹宮（蟹座）のレッスンへと進もう。

蟹座は月の館であり、その金属は銀、石は真珠、色は白である。

月は胸腺に影響を与え、人間の成長を統制する。

月はあらゆる生物の乳汁に影響を与える。

月は生命ある総てのものの生殖を調整する。

月は植物の樹液を司り、潮の満ち、引きを司る。

月は塩を支配するパワーがある。塩は生命あるもの総ての基礎である。我々の有機体（肉体）内には12星座宮の12の塩が存在している。

蟹座は聖スカラベの星座宮である。

蟹座は復活の宮である。受胎は蟹座の光線がたずさわる。それ故、聖スカラベの宮である。

エジプトでは聖スカラベは霊を象徴する。生まれ変わる霊は肉体を得る前に蟹座の軌道を通ずる。

CANCER (キャンサー)

蟹座はその名を伴う病気を生じさせる。

\*キャンサー

cancer、癌は姦淫者のカルマである。

月はそのうしろに隠れる秘密の星のシンボルである。

月の中心寺院の紫色の天使団は人間に<sup>ヒエラキニー</sup>「生命体」<sup>バイタリティ</sup>を与えた。

月の見えない部分に住む者がいる。

HELENITES \*

ヘレニテス\*の住人は地上で最も卑俗でぐずぐずした人間である。月の見えない部分、そこに彼らを閉じ込める必要があった。その町のほとんどの住人は女性である。これらの人間は良くも悪くもな

\*ヘレニテス：不詳。ギリシャの地名か？

い。ただ、単に「のろま」なのである。彼らが進化すれば、もう一度地球で肉体を与えられる。最終的には彼らの総てが再び肉体を持つであろう。天文字者が<sup>Li I I I t h</sup>リリットと呼ぶもう一つの小さな月もまた存在する。リリットは黒い月である。アートマン - <sup>B u d d h i</sup>ブッディ - <sup>M a n a s</sup>マナスが形成する<sup>s u p e r i o r e g o</sup>超越的自己と完全に離れてしまった霊はそこへ行く。

言い難いほど邪悪な霊は黙示録の言及する、そしてキリストも我々に語った第2の死を通してリリットへ行かねばならない。

マダム・<sup>H. P. B.</sup>ブラバツキーは「The Secret Doctrine (秘密教義)」、第6巻の中で<sup>A v i t c h i</sup>アヴィチと第2の死について言及している。

<sup>B h a g a v a d</sup>バガヴァット・<sup>G i t a</sup>ギーターもまた奈落について語っている。我々のことを嘲笑うコロンビアの精神主義者たちの為に(我々ノスティックだけが第2の死について述べているのではないことを説明するのは)これくらいで十分であろう。

奈落の底に邪悪な霊をこの肉体的私が閉じ込めているなどと言ったことはない。それは大きなまちがいである。なぜなら私は他の人々と同じ普通の人間にすぎないからである。神のみがそのようなパワーを持つのである。自然の驚異は「アートマン」によってのみ為される。それは生命の偉大なる<sup>エニバーナル スピリット</sup>宇宙的魂「<sup>A i a y a</sup>アラヤ」であり、<sup>s u p e r s o u l</sup>エマーソンの言う「超越霊」であり、世界の偉大なる霊である。この自然の驚異は我が内なる神によってのみ為される。それは我が「<sup>p u r u s h a</sup>アルシャ」であり、我が「超越的存在」、我が内なる自身、内なるマスターであり、モノドであり、内なる天使である。その存在の前で私は<sup>o f e r</sup>跪かなければならない。なぜなら彼こそアートマンであり、言語に絶するほど神聖な存在だからである。

<sup>o f</sup>驚異的な業はあなた方の内なる神によってもなされることである。なぜならアートマンは全能の神であり、言い表わせぬほど神聖な存在だからである。

マスター達は数多くいる。しかし「<sup>S a m a e l</sup>霊のマスター」は一つである；「世界の霊」である、聖なる<sup>A u n</sup>アラヤは複数のように見える。<sup>W e o r</sup>サマエル・アウン・ベオールは偉大なる焰の内のひとつの炎の真の名である。その前では私はひれ伏さねばならない。

サマエル・アウン・ベオールは「神の意志」という意味である。そして神の意志がこの本を書かしたためのである。それゆえ、アヴィチについて我々が話す時、何も新しいことを言っているのではない。ほとんどすべてのまともな精神主義者はそれについて言及し、記述し、解説をしているからである。

精神主義者は「アートマン」、生命の偉大な<sup>エニバーナル スピリット</sup>宇宙的魂<sup>コズミック</sup>が宇宙の使命を成就するためにその炎の一つを通して働くことを深く嘆く。まさにそれは驚くべきことである。なぜなら大胆なほどの単純性を持つ無知は<sup>celestine beggar</sup> \*だからである。それと共に誰も純潔なコンタクトを持つことはできない。私を批判する総ての愚か者達の知恵はどこにあるのか？ どこに行ってし

\*celestine beggar:不詳。

まったのか？

アヴィチは古くから語られていることである。あのE. Adoun博士(Mago Jefa)でさえ「<sup>La Zaria de Orab</sup>ホレブの野バラ」の中で第2の死について語っている。

古代においては、至高の三位(アートマン - ブッディ - マナス)から完全に離れたパーソナリティー達は地球のアヴィチに残った。(H. P. ブラバツキーの“The Secret Doctrine”第6巻参照)

現代、時代は変わった。新しい水瓶座の時代が始まっている。そして既に至高の三位から離れてしまっているこれらのパーソナリティーをこの地球から隔離しなければならない。すべての邪悪な空気(霧圍気)を浄化する為である。そういうことである。これを講座に来る精神主義者や気まぐれな読者の一部が嘲笑うとしたら、それは一体誰を笑っているのであろうか？

至高の三位とその下位の自我とをつなぐ「<sup>Antakarana</sup>アンタカラーナ\*」と呼ばれる橋が壊れると、下位の自我は分離されて破壊的エネルギーの奈落の底へと埋没していく。そしてそこで少しずつ崩壊されていく。これが黙示録が我々に語っているところの第二の死である。つまり「アヴィチ」と呼ばれる意識の状態である。

この場合、至高の三位(アートマン - ブッディ - マナス)はその進化を続ける為に新しいメンタル体を身につける。捨てられたパーソナリティーは言うに言われぬ苦しみの中、「アヴィチ」の状態に沈められる。

太陽系のすべての月は<sup>Jehova</sup>ヘホバが統治する。しかし地球の衛星である月は「大天使ガブリエル」が直接統治する。

<sup>マジック</sup>魔術を行う者は月の影響によく注意を払うべきである。なぜなら、あらゆる惑星のエネルギーは月の<sup>forces</sup>力を通してこの地球に結晶するからである。

<sup>crescent</sup>上限の月の間に始められた総てのことは急速に進行する。

<sup>waning</sup>下限の月の時に為される総てのことは失敗する。

新月は非常に弱い。満月は大変力強く、実用的魔術のあらゆるワークを成功に導く助けをする。

月の最後の日の意味するものは流産と失敗……である。

為すべき仕事は常に上限の間に為せ。そうすれば成功する。ヒトラーは下限の月にロシアに進撃

\*アンタカラーナ：高我(アートマン、ブッディ、マナス)と低我(パーソナリティー)をつなぐ「内なる器官あるいは器具」

し、失敗した。

ひとつの星が月の光雲の内に輝いていたらそれは <sup>General</sup>「総統」が敵に取り囲まれているというしるしである。

月は潮の満ち引きを引き起こす。

月は波の高低を生じさせる。

月は地球の磁気を引きつけたり、跳ね返したりする。

<sup>フジヤン</sup>魔術者は実用的魔術のエクササイズのためにその肉体を「準備」しなければならない。魔術者の肉体は準備されているが故に他の人々のものとは違う。

## エクササイズ

椅子に楽な姿勢で座る。目を閉じる。マインドから全ての思いを取り去る。内なる本質に集中し祈る。

「聖なる父。私の真実の存在であるあなた。我は主に嘆願する。月の中心寺院に入られたまえ。そして大天使ガブリエルをここにお呼び下さりたまえ。礼（挨拶）をなしたまえ。我が主……アーメン」そして四方に向き、東西南北（四大要素）の魔を払い、次の大天使ガブリエルの<sup>インボケーション</sup>祈念の呪文を行う。

## インボケーション

「一万三千光線を太陽は持つ。一万三千光線を月は持つ。一万三千回我らの敵は悔いるだろう。」

大天使ガブリエルに、自分自身を不可視にする、或いは身に危険が迫った時、顔を別人の顔に変えたり、向かってくるナイフや弾丸を止めたり、また高次の存在を物質界に顕現させたりすることのできる体を準備して下さるようお願い。偉大な神通術者、イアンプリクスはその肉体をよく準備したが故に、この物質の世界に惑星の神々を可視化した。

大天使ガブリエルはあなた方の脾臓と脊柱にあるいくつかのセンターを超自然的に治療するであろう。大天使ガブリエルを物質界に可視化させ、実態化させることができるなら、それは既にあなたの肉体が「準備」されたからである。危険の瞬間、大天使ガブリエルのインボケーションを行えば自分を不可視にもできるし、あなたがそう望むなら大天使ガブリエルは敵の視界からあなたを消し去りもする。また、顔を他の人の顔に変えてしまったりもするであろう。インボケーションは常に四大要素（東西南北）の魔を払ってから行う。

体を準備するためのこのようなエクササイズは我々が一生を通して実践すべきものである。

神通術者がその体をよく準備した時、物質界に惑星の神々を可視化できるのである。これは忍耐と根気を必要とする。何ひとつとして贈り物のように簡単に手に入るようなものはないからである。何事も闘いと犠牲を必要とする。

天から降り来るエネルギーは胸腺に至り、そこで地から我々の有機体中を上昇するエネルギーと出会う。そして胸腺の内に上からのエネルギーと下からのエネルギー、この2つの三角形は、ソロモンの印を形成、交錯する。

## エクササイズ

椅子に座る。胸腺で宇宙のエネルギーのこの素晴らしい遭遇によってソロモンの印を形成していることをイメージする。深い内なる瞑想に入る。内なる本質に蟹座の主星の星の寺院に行かれ、星座の第一天使団をここにお呼び下さるよう願う。そうすれば天使団はあなたの内なるパワーを目覚めさせ、胸腺に治療を与えるだろう。「ア」を毎日1時間唱える。

蟹座の人は温和だが時々激怒する。手を使う芸術に才能があり大変感覚的である。蟹座の人の性質は月の位相と共に変化する。長い旅において物事は彼らにとってうまく運ぶ。彼らはロマンティックで熱情的で大変粘り強い。

兄弟として

あなた方のクラスの教師

サマエル アウン ベオール

ゾディアカル（黄道帯12宮）コース  
ノスティック秘教占星術

獅子宮（獅子座）

7月23日～8月22日



by Emiko Hori

支配する体の部分	:	心臓、脊柱
金属	:	金
石	:	ダイヤモンド
香	:	インセンス
木	:	ひまわり
花	:	けし
惑星	:	太陽
色	:	金色
自然界の要素	:	火
キーワード	:	生命
曜日	:	日曜
支配主	:	ミカエル

親愛なる生徒たちよ、

今回は獅子座へと進む。

獅子座は<sup>ハート</sup>黄道帯の中心であり、太陽の玉座である。

獅子座は、聖書で「座天使」（天使の九段階級の第三階級）と呼ばれている炎の子供達が住む処である。

<sup>Kumara</sup>獅子座はクマラの館である。

獅子座は<sup>ハート</sup>太陽の館であり、我々の心臓を司る。

丁度、太陽が<sup>ハート</sup>太陽系の<sup>ハート</sup>心臓であるように、人間の<sup>ハート</sup>心臓も人間の有機体にとって太陽である。

天から<sup>Force</sup>下るエネルギーと地から<sup>Force</sup>上昇するエネルギーは<sup>ハート</sup>ハートで出会い、三角形を型づくり、交鎖し、補い合い、ソロモンの印を形成する。<sup>ハート</sup>ハートは聖なる母たる地球の女神の座する神聖な間である。聖なる<sup>ヘディット</sup>クンダリーニ王女、「Hadit」-砂漠の、翼を持つ蛇は遙かそこまで到達する。

<sup>(懸転)</sup>イニシエーションの十字架は<sup>(Heart-Temple)</sup>ハートの寺院で授けられる。

クンダリーニは<sup>ラボラトリー</sup>ハートが働く実験室である。

ハートの炎は脊柱の炎をコントロールする役目がある。クンダリーニはハートの真価に応じて上昇する。クンダリーニは太陽ロゴスのオーラの中で展開し、発達する。

ハート

ハート

心臓は人間の有機体の中で最も繊細な臓器である。地上の最も離れた地の地震動さえ心臓の微細膜に記憶されている。

ハートは内なるマスターの聖なる寺院である。内なるマスターは直観<sup>Hunches</sup>によって我々に語りかける。この直観に従うのであれば、人は何の問題も抱えることなくその人生を生きられよう。

人間は内なるマスターの声に従わず、それ故、自ら問題を作り出す。

我々の内側には永遠の闘争を続ける二人の人が存在する。一人がもう一人に反逆する。

一人は神聖であり、もう一人は動物的である。動物的な人は自分一人で何でも解決したが、自分~~を~~自分の好きなように振る舞う。神聖な人は直観を通して語る。その声は沈黙の声であり、その行いは常に正しい。そして幸福を創造する。

動物的な人とは頭の中に住む7つの入口を持つマインドである。

神聖な人とは内なるマスターである。

マスターが命令する。しかしマインドは従わない。マスターの命令を全く気に止めず、自分だけで総て解決したが、好き勝手に行動したが。結局、誤った行為や徒勞の結果として、苦しみや悲痛が生じる。

沈黙の声とともに行動する者は幸福である。彼らは、決して食べる物や住む処、頼みになる人々にこと欠くことなく、保護されるであろう。彼らは何の問題もなく人生を生き、至福を得るであろう。

馬車の御者であるあなたは、野生の小馬<sup>Colt</sup>であるマインドを的確に制御<sup>コントロール</sup>しなさい。そうすれば、マインドがあなたの馬車を奈落へと落としめ~~る~~ことはないであろう。

内なるマスターはハートの寺院の玉座に座する、神聖な証人である。

マスターの内なる本質は絶対的幸福と限りなき全知である。

内なるマスターは「単純<sup>シンプル</sup>」である。他のものは全て複合である。

絶え間なく自然界は変化を続ける。しかし、内なるマスターは不変である。従ってマスターは自然界に束縛されることはない。自然界はマスターに影を投げかけるが内なるマスターにその影は及ばない。

Soul  
霊が内なるマスターと融合し合う時、自然界から解放され、絶対的存在の至高なる幸福に入る。

ニルバーナ  
その幸福の状態が涅槃と呼ばれるものである。

数えきれないほどの誕生と死（輪廻転生）を繰り返してニルバーナに到達する。しかし、もっと短い道程、イニシエーションの道を通ってもそこに到達する。イニシエートは、彼がそう望むのであれば、1回の転生でニルバーナに到達する。

「光に到る門は狭く、その道は細い。そして、それを見出すものは少ない。」

イニシアティブ  
7つの秘儀参入の教会はアストラル界に存在する。この道を進みたいと願うなら、マスターを探し求めなければならない。

「その者が道を行く準備ができた時、マスターは現われる。」

「偽りの予言者に注意せよ。」物質界のいかなる外側のマスターも受け入れてはならない。アストラル体で「出る」方法を習得しなさい。アストラル界に熟達したなら、白の兄弟結社の大密儀の真のマスターを選び、彼に最も完全な信仰と最も深い心からの尊敬を捧げなさい。

物質界には多くの偽りの予言者がいるので十分に注意を払って歩まねばならない。誰からも外側の命令を受け入れてはならない。アストラル界において「我々」が与える命令のみに従うべきである。

Lesser Mystery  
物質界には小密儀の多くのイニシエートがいる。彼らは善的で誠実ではあるが内なるマスターと未だ融合し合っていない。彼らは「生ける屍のような」ものであり、結局は学ぶ者を惑わし、さらには奈落の底へと落としさえる重大な悲しむべき誤ちを犯すのである。

「我々」があなたに物質界で「我々」のことを知らせる時は「サイン」で示し、アストラル界でそれを証明する。しかし、戦争の時の衛兵のように油断なく、寝ずの番で偽りの奇跡、不思議な事物に「用心深く」ありなさい。

シンプル  
「鳩のように純真にそして蛇のように賢くあれ」

「温かで謙虚に、しかし、こと真実に関しては思考に、言葉に、そして行いに強くあれ」

高い所にいけばいくほど、落ちた時、より深く落ちる。

だからこそ、慎重に下降しないようにしなくてはならない。1度自分が下降することを許したなら、失ったものを取り返す為に大変な闘いをしなくてはならない。

この2つの法則は至って単純である。しかし非常に重要である。

物質界の偽りの予言者に出会い、彼らを受け入れ、それ故、ひどい奈落の暗闇に落ちてしまった多くの小密儀のイニシエート達を私は知っている。

私はあなた方にアストラル・トリップの方法を教えた。それ故あなた方はもうだまされることはないであろう。だまされる生徒はアストラル体で行動する方法を知らない者である。

我々の聖なる寺院や、我々の神聖なイニシエーションをあざけ<sup>3</sup>ようとする者は「生ける屍しかばねのような人」である。その人の言うことに耳をかたむけてはならない。彼は危険である。

何のイニシエーションも通過することなくニルバーナに到達できると考える人々がいる。そのような「生きながら死んだ」人々は人生の螺旋状の道を行く。彼らは無数の生と死（輪廻転生）を通してやっとニルバーナに到達するであろう。そして別の「生きながら死んだ」人々がいる。彼らは内なるマスターと自分自身を早急に融合させたいと思っているにもかかわらず、我々の神聖なイニシエーションをあざけ<sup>3</sup>ようとする。この種の「生きながら死んだ人々」は最も危険である。なぜなら、その道を踏みながらその道をあざげるからである。この人々はビクトル・ユーゴーの「犯罪者（いう）」である。彼らは寺院の冒瀆者である。

小密儀の9つのイニシエーションを通過することなく内なる自<sup>身</sup>と早く融合したいと願うことは、大学での必要な年限の間、勉強することなく博士の資格を取得したいと願うのと同様である。あるいは軍隊で、兵士から順に全ての階級を経ずに将軍になりたいと思うことと同じである。

全てのイニシエーションはアストラル界の寺院で授けられる。しかし、そのための学校は人生そのものである。

獅子座の間、瞑想を通してハートに従って行動する。内なる瞑想は三段階からなる。

- 第一 : 完全な集中
- 第二 : 完全な瞑想
- 第三 : 完全な三昧ソマディ

内なるマスターに集中しなければならない。内なるマスターの威厳に集中しなければならない。内なるマスターの声が聞こえ、内なるマスターと神聖なコミュニケーションができるまで、内なるマスターに語りかけねばならない。

これがサマーディ（三昧）と呼ばれるものである。

集中は1つのテクニクである。マダムブラバツキーの「沈黙の声」の17ページにあるので引用する。

H. P. B

The Voice of the Silence

Soul

「霊が沈黙の声を聞く為には人は聾者となる必要がある。獣の吠え声や、ささやきや、叫びや、象の鳴声などの（物質的音も）金色の螢の銀の飛翔音のような（幻想の内に聞く音も）全ての音が聞こえない状態でなければならない。」

Soul

「霊が沈黙の声を理解し記憶する為には粘土が、まず陶工のマインドにある型と一致するまでこねられ型づくられるように、霊は沈黙の語り手と1つにならなければならない。」

「そして霊はその声を聞き、記憶する。」

「内なる耳が語る —— すなわち沈黙の声」

従って獅子座の間、特に内なる瞑想のプラクティスをすべきである。私はあなた方に眠りにほとんどおちそうな時に、内なる瞑想をするようアドバイスする。野生の馬であるマインドを完全に支配しなければせならない。物質界の物や音に対してマインドがするすべての反応をコントロールしなければならない。

内なるマスターはマインドではない。内なるマスターは感情でもなければ意志でもない。意識でもなく、インテリジェンスでもない。

ビーイング

内なるマスターは神聖なる証人である。内なるマスターは存在の本質である。内なるマスターは内なる自身である。故に深い瞑想の間、次のように言う。

「これは私ではない。これは私ではない。これは私ではない。」

「私は彼である。私は彼である。私は彼である。」

\* アstral Trip P246, 247

「この肉体は私ではない。この生命体は私ではない。このアストラル体は私ではない。

このメンタル体は私ではない。このコーザル体は私ではない。私は魂の本質、私は彼である。」

内なるマスターに願う時、彼はあなたにたとえようのない神聖なるものを教えるであろう。真剣に集中するなら宇宙の驚異に浸透し、ことばで表現することは不可能なことを学(ふ)であろう。

獅子座の間、ハートのチャクラを目覚めさせる母音『O』：オーを毎日唱える。

物質界で鼓動するすべての生命を放射する秘密の惑星は、太陽と水星の間に存在する。

太陽のブルーの天使団は、全ての生命の泉である。獅子座の人は、<sup>エナジェティック</sup>精力的で寛容である。そして同時に高潔で雅量があり神秘的で独裁的である。彼らは怒りっぽい傾向があり、その欠点を抑えるために大変な努力をしなければならない。

太陽の玉座にある獅子座は、<sup>オカルト</sup>幸運と高い地位を告げる。獅子座の秘教的意味は、<sup>Intuition</sup>直観である。金が獅子座の金属で、ダイヤモンドがその石である。

獅子座の人は権威的で命令することのみを好む。獅子座はいくつかの旅をもたらす。獅子座の人は<sup>Morally</sup>道徳的に大変苦しむ。

兄弟として

あなた方のクラスの教師

サマエル アウン ペオール

## 真正宇宙園

真正宇宙図は人間の右横体に記されている。胸は水星であり、土星（腹部）は我々の有機体の太陽である。そして、FIORは性器官である。

公正な天宮図や算術的占星図は、巫女やジプシーには適切であろうが、真筆な人々の為のものではない。ましてやイニシニートにはほとんど役に立たない。なぜなら真のイニシニートは、その中で使われる「隠語、不明のことば」などを用いることは決してないからである。

惑星は我々の意識の内に展開し、生き、鼓動する。そしてすべての星の動きは、人間の右横体の真正宇宙図に記憶される。

真正宇宙図の黄道帯の12宮の扉は、我々が黄道帯の12の惑星の1つ1つに浸透することを可能にする。

星々は宇宙意識の中で確認され、この意識は、直ちに我々自身の中で存在する。従って繰り返し言う。星々は我々の意識の中にあるのであり、外側にあるのではない。人間の真の天宮図は、我々自身の体の宇宙図に記されてる。

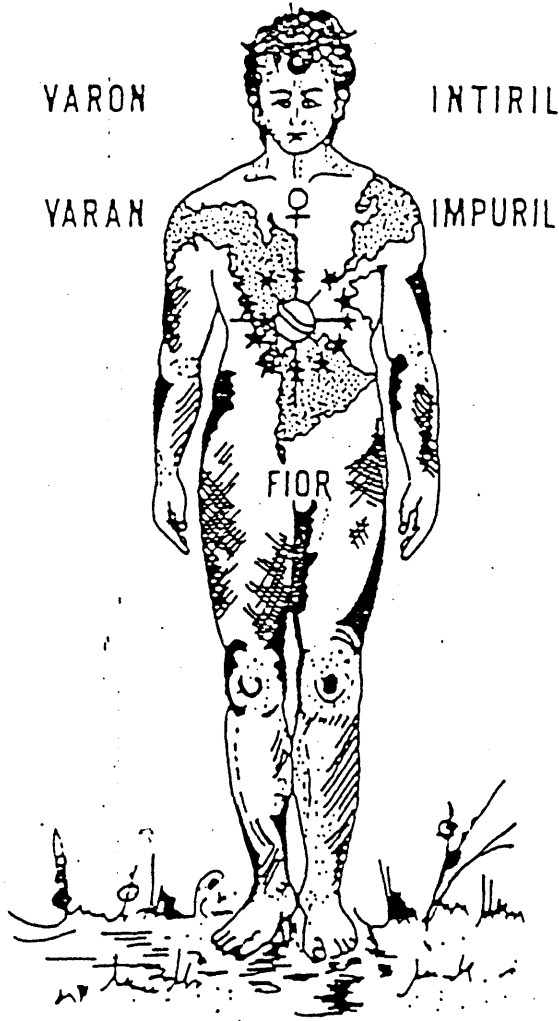
4つの秘教的ことば（Varon, Intirill, Varan, Impuril）は1953年7月11日の星食の正確な予知を含んでいる。この星食は我々の意識の内に起こり、その正確な結果は聖なる言語で語り、宇宙図の読み方を知るイニシニートの占星術者のみができる。真の占星術者は、惑星の光線の錬金術者でなければならない。そうでないのなら、惑星の光線を変化させ、物質界に事象を結晶させるために種々の成分や塩イヒ物を化合することはできないからである。

人間の有機体の宇宙図の読み方を知る者のみが真の占星術者である。

人は獅子座でその進化を始め、獅子座でその進化を終えるであろう。人の進化全過程は、その人の右横体の宇宙園に記される。

サマエル・アウン・ベオール

AUTHENTIC COSMOGRAPHIC MAP



ゾディアカル（黄道帯 I 2宮）コース  
ノスティック秘教占星術

処女宮（乙女座）

8月23日～9月22日



by Eniko Hori

支配する体の部分	: 腸、下腹
金属	: 水銀
石	: エメラルド
香	: 白檀
木	: にれ
花	: 朝顔
惑星	: 水星
色	: 黄色
自然界の要素	: 土
キーワード	: 理性
曜日	: 水曜
支配主	: ラファエル

親愛なる生徒たちよ、

今回は処女宮（乙女座）の星座へと進む。そこは水星の館であり、金星からの追放の地である。

古代の賢人たちは黄道帯を10星座にのみ分けていた。処女宮（乙女座）と天蠍宮（さそり座）は“秘教的”には1つの星座とみなされていたからである。

惑星の処女のサインである乙女座と、性エネルギーのサインであるさそり座は共に実際、聖書が語るところの超自然的エデンの園である。ここは純潔な人間の楽園である。ここは完全なアンドロギヌスの楽園である。ここは聖書の伝えるエデンの園である。エデンは性そのものである。

「かわいている者はここに来るがよい。いのちの水がほしい者は、価なしにそれを受けとるがよい。」

「すべて重荷を負うて苦勞している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。」

地球の子たちよ！ あなた方のインストラクターである「火の子たち」の言葉を聞きなさい。

乙女座とさそり座の喜びの庭には7つの火の蛇があなた方を大輿儀に参入させようと待っている。

「求めよ、さらば与えられん。叩けよ、さらば開かれん。」

我が息子よ。ハートの印がここにある。我らの「白き島」を訪れる者には3つのグラスの甘美な秘儀を飲ませよう。

1つはエメラルドのような緑色である。聖母マリア、イシス、大自然（の女神）、性エネルギーである。

1つは<sup>ブルー</sup>大空を表わす青である。魂の座する王国の性エネルギーである。

もう1つは、木々の葉に降りる夜露のようである。絶対の、言い表し難いほど（神）聖なる……性エネルギーである。

求め、渴いている者にもこのエデンの3つの秘儀を与えよう。そしてその者たちが7匹の火の蛇を目覚めさせるように。我々の、この3つのグラスを飲み干す者はもう二度と渴くことはないであろう。そして純粋な水が川のように彼らの腹部からほとぼり出るであろう。

なぜ、乙女座の人々は苦しむのか？ なぜ、彼らは嘆くのか？ なぜ、彼らは愛情に不運なのか？

すべての罪は許されるであろう。聖霊を汚す罪を除いて。

乙女座の人々は過去生において姦淫や偶像崇拜を犯したために苦しむのである。

乙女座の人々は恋愛におけるごまかしや欺きに大変苦しむ。

乙女座において水星は理性を表す。理性は動物霊に属する。動物霊とはマインドである。マインドは欲望の住む洞窟である。

欲望をその洞窟から、その隠れ家から引き出さずにそれを殺すことはできない。

静かな湖面を想像してみなさい。もしそこに石を投げれば、中心から周囲に向けて広がる波紋を見ることができよう。マインドにおいても同じことが起こると想像してみるがよい。

1つのポルノ的イメージを突然、目にしたとする。するとそのイメージは感覚機能を通してマインドという湖に到達する。マインドは外側の刺激に反応し波紋が広がる。そして、その波は性器官に衝撃を与え、性エネルギー消耗の性交へと導く性的興奮を生み出す。

感覚を従わせ、マインドを支配しなさい。そうすれば外界からの刺激に反応することはないであろう。

欲望という獣の隠れ家（巣）はマインドである。偉大なるインテリ達は多情多感で、不道德な、姦淫（性エネルギー消耗）を犯す存在達である。

彼らはマインドを開発してきた。そしてマインドは動物霊である。

我々がこの物質界において、物質的マインド、あるいは動物霊の指揮下で行動するのなら、我々



この10のセフィロトは我々の内にあり、それらを操作することを学ばねばならない。人々の天宮図を知るため、異なった星々へ自分自身を移動させる方法を学ばなければならない。

惑星の神々と交信することによって、いわゆる商売的算術的占星術の助けの必要なしに我々の天宮図を知るであろう。

算術的占星術は「暗黒の時代」のためのものである。今や「天体神通術」の時代がやって来たのである！

星の火花を操作して病気を治療するためには星のきらめきについて学ぶ必要がある。地球上で働くことができるよう星々の寺院から学ばねばならない。地上で働くため黄道帯の12星座から我々は学ばなければならない。

水瓶座の時代は到来した。新しい種族が統治する時代。「超人」の時代は到来した。

地球は小さな青い星である。太陽系の他の惑星の住人が我々の星、「地球」の影響下に生まれる時、彼らは生まれつき、神秘的で、犠牲的、献身的で、利他的である。彼らは人生で大変苦しむ。生きるものすべてを大変愛するゆえである。しかし、この地球と呼ばれる青く輝く星の黒魔術師達は、非常によこしまで邪悪である。

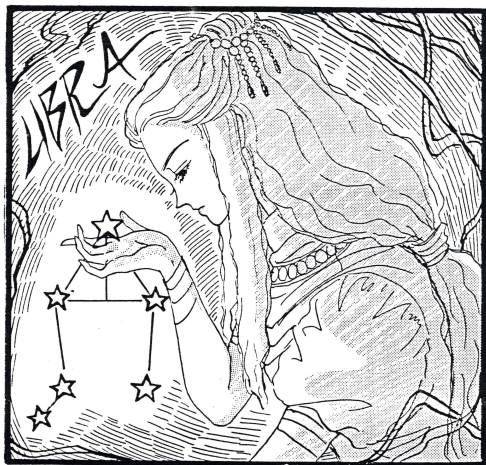
兄弟として  
あなた方のクラスの教師  
サマエル アウン ベオール

ゾディアカル（黄道帯 I 2宮）コース

ノスティック秘教占星術

天秤宮（天秤座）

9月23日～10月22日



by Emiko Hori

支配する体の部分	: 腎臓
金属	: 銅
石	: 貴橄欖石(きかんらん石)
香	: 樹脂香(ふうし香)
木	: 松、(しだれ)糸杉
花	: 水仙
惑星	: 金星
色	: 緑
自然界の要素	: 空気
キーワード	: 愛
曜日	: 金曜
支配主	: ウリエル

親愛なる生徒達へ

今回は<sup>バラン</sup>平衡を司る星座、天秤宮(天秤座)に入る。この星座は<sup>土星</sup>土星と<sup>金星</sup>金星の館である。

太陽系の惑星: 月、水星、金星、太陽、火星、木星そして土星は「我々」の意識の内で生き鼓動する。

霊はこの太陽系内で発達し、展開するのであり、それは、我々の意識の最も奥深い所で息づいている。

「善なる霊達」の転生の過程では、(それらの)霊はそれぞれの惑星のオーラの1つ1つの内で展開しなければならぬ。すべての精神主義の本ではこのオーラが混ざり合って形成するものを「(高次)界」と呼んでいる。

天秤宮は腎臓に影響を与える。

天秤宮は<sup>forces</sup>エネルギーの均衡を保つ星座である。人間の有機体の<sup>forces</sup>エネルギーは、腎臓において「完全」な形でバランスをとらなければならない。

宇宙のすべての<sup>forces</sup>エネルギーは均衡に向かって展開し(続け)ている。我々はすべての事柄に関して<sup>forces</sup>平衡を学ばなければならない。

あなた方は敵対するエネルギーどうしを混ぜ合わせてはならない。なぜなら、非常に破壊的なエネルギーがその結果、生じるからである。あなたの周りの人々を注意深く見なさい。憎しみに満ちた人々や皮相的な人々と共に暮らしてはならない。なぜなら、相反するエネルギーの同居によってあなたや、あなたと共に住む人々にとっての破壊的エネルギーが生じるからである。それ故、<sup>forces</sup>平衡のエネルギーについて学ぶべきである。

インテリ達は最後には「気遣い」あるいは精神錯乱に至る。それは、彼らがバランス（平衡）をとろうとするエネルギーに反しようとするからである。

Xを形作るエネルギーの遭遇を想像してみなさい。そしてこれを人に当てはめてみよう。どの人も7つの乗り物（体）と繋がっている。もし、我々が、全集中をマインドに、つまりXの中心であるメンタル体に向けたとしたら、その結果、メンタル体は破裂してしまうだろう。

インテレクトにのみ注意力を向けたインテリ達はずいにメンタル体の破壊を引き起こす。ほとんどすべてのインテリ達は、理論や「偏執性」によって偽装された熱狂癖や精神異常を持っている。

古代において、人は現代に比べずっと純真であった。動物霊に属するインテレクトを持たなかったが故に、微細なるものや惑星の天才たちを知覚することができた。

古代人は「大熊座」の影響下で霊性を発達させた。もし、学徒が意識の目覚めを望むのなら、大熊座に熱心に瞑想をしなければならぬ。この星座はパワフルな霊的エネルギーを放射する故、（人間は）大熊座の星の天才たちと交信することを学ぶ必要がある。

大熊座に自分を移行させるキーがある。そのキーとは、アストラル界に存在する「イエローストーン（黄色岩）」に深く瞑想することである。覚醒から眠りへの移行の瞬間にこのエクササイズをする。そうすれば力強い巨大な文明が存在する大熊座の主星へとあなたのアストラル体を転移させることができよう。

17世紀以来、地球は新しい霊的覚醒の時代に入った。その霊的覚醒は水瓶座で、つまりこの今の時代においてその持てるきらめきすべてをもって輝くであろう。その霊的覚醒は偉大なる正覚者、「仏陀」の影響の故に起こる。仏陀は17世紀に「火星の人類」の救世主となったが、火星のエネルギー（力）によって隠された。

それは火星人を救済するためと、火星から放射する「正覚的-火星的」エネルギーによって我が地球の人類を助けるためであった。

ミカエル、ガブリエル、ラファエル、そしてオリフィエルは、四方（北、南、東、西）のカルマ的バランスを統治する四支配主である。そしてまた（これらの存在は）地球の四方点の四大天使でもある。秘教占星術は完全なる平衡の法のうちに生きなければならない。

月曜、水曜、金曜、日曜、火曜、木曜、そして土曜という順が一週間の（曜日）の正しい順序である。

この真正かつ正統なカレンダーはローマカトリック教派によって汚されたが、平衡の法に従って生きるため再びその修正をする必要がある。正統な一週間の曜日は真の平衡と惑星の順の法に基づいている。

我々は、苦か楽かとか、損か得かなどの二者択一に無関心であることを学ぶべきである。

バガバッド・ギータは以下の如く伝える。

「取り止めのない考えを追っていくマインドは風に吹かれて海面を彷徨う小船のごとく薄弱な雲をつくる。」

「感覚を殺しなさい。Nipata経を悟りなさい。苦と楽を、損と得を、勝利と敗北を平等に見なさい。」

天秤座の人は何事にも大変要領がいい。しかし愛に関しては苦しむ。なぜなら、彼らの恋愛も人生も天秤のように不安定だからである。

## エクササイズ

足をそろえてしっかり立つ。両腕を広げ、十字を形作るようにあるいは天秤を形作るようにする。我々のすべてのエネルギーが腎臓でバランスをとるように意識して腰を左右に7回ずつ傾ける。

兄弟として

あなた方のクラスの教師

サマエル アウン ベオール

ゾディアカル（黄道体12宮）コース  
ノスティック秘教占星術

天蠍宮（さそり座）

10月23日～11月22日



支配する体の部分	: 性器官
金属	: 磁石
石	: トパーズ
香	: 珊瑚
木	: 樺
花	: 菊
惑星	: 火星
色	: 赤
自然界の要素	: 水
キーワード	: アクション
曜日	: 火曜
支配主	: サマエル

親愛なる生徒達へ

我々は強さとパワーの全能の帝国にやって来た。ここでは威厳と権力の言葉が語られるだけである。

ここでは全能なる力を理解する必要があるのである。ここは比類なき冥王星<sup>プルートン</sup>の王国、力と魔術師の全能なる帝国である。ここは「戦闘的<sup>マルス</sup>な火星」の火の館である。

土<sup>レイオン</sup>の軍団！

空気の軍団！

水の軍団！

火の軍団！ 我らに従え！

さそり座は性器官を司どる。そこには魔術師のすべてのパワーが宿る。さそり座は火星と訪問者「冥王星」の館である。

訪問者と呼ぶのは、実用魔術の恐るべき天才はこの太陽系に属していないが故である。それは、困難に満ちた道を行くすべての戦士たちに救いの手をのべる訪問者にすぎないのである。

彼の荘重な寺院の内に我々は2つの巨大な象徴的な“<sup>balls</sup>球”を見る。そこに座す彼の姿をご覧ください。彼の「ペールに覆われた」顔は恐ろしく荘厳で全能なる力を放出している。

ブルートーは闇の力が我々を襲う時、イニシエートの命令により集まる。ブルートーは黒魔術の暗黒の支配主たちから我々を防御する。彼の姿をご覧ください。彼はそのボールを操り嘆願する者の助け

に応じる。

地球の子たちよ。あなた方のインストラクターである火の子たちの言葉を聞きなさい。

親愛なる学徒よ。では大 <sup>Great Arcane</sup> 奥儀の至高なるキーを伝え授けよう。クングリーニの絶大な力の秘密を。

クングリーニは性の秘儀 <sup>Magic</sup> により目覚める。

カップルは、言いようのないほどに神聖な歓喜を感じる愛の瞬間、配偶者（妻）と性的に結びつくべきである。そしてその間、このクングリーニのパワフルなマントラを唱える。これは私がアローシユ <sup>Arosh</sup> と呼ばれる天使の指揮官から授けられたものである。

そのマントラとは、カン <sup>KAN</sup> ディル <sup>DIL</sup> — バン <sup>BAN</sup> ディル <sup>DIL</sup> — Rrrrrrrr である。唱える時は一つの歌のようにして、母音（A、I）は伸ばして、カンが高く、ディルは低く、やはりバンは高く、ディルは低く発音する。Rrrrrrrr は高く、鋭く、子供の声のように発音する。そしてモーターや空回りする粉砕機のように高く細く音を伸ばす。

よく聞きなさい。これが無限の宇宙空間の中で知られる、クングリーニを覚醒するための最もパワフルなマントラである。

またこのマントラをメンタリーに唱えながら、配偶者（女司祭である妻）から射精することなく身を引くことができる。制御された欲望はエネルギーを上へ押し上げ、頭へと上昇させる。このようにしてクングリーニを目覚めさせ、神々となるであろう。

さて、ここで尊敬すべきマスター、アーノルド・クルムヘラー —— ノスティック教会の導師 <sup>ウァ</sup>（ウィラコッチャ）大司教 —— の秘教占星術コース第8課からいくつか引用しておこう。それによって学徒達はその教えをより深く理解するであろう。

「オーガズムに達する性交のかわりに、愛 <sup>い</sup>むようなソフトな愛撫をささげる。マインドから動物的性欲を遠ざけ、情熱的な言葉や、優しい愛撫を続ける。それはあなたかも真の宗教的儀式であるかのように行う。」

「とは言え、男性は女性器に男根を挿入し、その状態を保つことをしなければならない。それによって何時間も完全に続く素晴らしい崇高な感情、歓喜が二人を圧倒する。そして射精を避けるようその前の瞬間に遅れる。」

このようにしてカップルは毎回毎回愛撫する思いを互いに深めていくのである。」

「射精によって性エネルギーを消耗することがなければ、何回でも繰り返すことができる。性エネルギーの消耗ということがなければ、反対に、持続的な互いの磁気交流による、生命力の泉となるので、寿命を延ばし、体を日々健康に保つ若返りのための魔法のキーとなるのである。」

「一般の磁気学で知られていることに、磁気を持つ人はその力を伝達することができる、というものがあ。従って、その人が開発された磁気エネルギーを持つのなら、他の人を治療することができる。」

「磁気エネルギーの伝達は普通、手あるいは目によってなされる。しかしそれ以上にパワフルな伝導体はないというものがあることを述べておかなければならない。他の何よりも何千倍もパワフルで、他の何よりも何千倍も優れているものは感受体器官としての男根と女陰である。」

「もし、多くの人々がこれを実践するのなら、彼らの周囲に、彼らと商業的、あるいは社会的に接触を持つ全ての人々にパワーと幸運が広がるであろう。しかし、神聖なる行為、我々が言及する崇高なる磁気行為においては、男性、女性ともに、相互に磁気エネルギーを得る。それはあたかも二人が、弦を弾くことによって神秘的で甘美なハーモニーを奏でる楽器であるかのごとくである。その楽器の和音は体中に拡がっていく。その主要なる鼓動装置は口唇と指にある。この行為は最もそして完全な純潔によってなされる場合、その至高の瞬間、我々を魔術師にする。」

崇高なるウィラコッチャによる第8課のこれらの引用は大奥儀の最高秘儀である。これはエリファス・レビも我々に多く語っているところのものであるが、それは、あえて明らかにされずにいたものであった。

これが、クングリーニを覚醒させ、自分自身を魔術師にするためのキーである。

「クングリーニは我々の魔術的力の火の蛇である。

クングリーニは背骨の基底部である仙骨部の尾骨の内部に位置する membranous pocket 薄膜の袋の内に閉じ込められている太陽の火である。」

クングリーニは性の火である。クングリーニは Holy Spirit 神聖霊の火である。クングリーニはエデンの門を守るチェルビムの炎の剣である。「ノスティック Magick 魔術会」という偉大な本の中でマスター・ウィラコッチャが脊髄と精液を最大限に生かすべきであると述べているのはこのためである。なぜなら、そこに人間のあがない(救い)があるからである。精液については、マスターは「Esoteric Rose 神秘のバラ」と表現している。

「汝の杯を高く掲げよ。その尊い液体のひとしづくさえこぼさぬように注意深くあれ。」

制御された欲望は精液をクリスティックなエネルギーに変換するであろう。このエネルギーは同時に陽性と陰性の極性を与えられ、脊髄の右と左に位置する二つの神経管を上昇する。インドではこれら二つの精液を運ぶ管はイダとピンガラと呼ばれている。

右の管は陽性でその中を太陽原子が上昇する。左の管は陰性でその中を月の原子が上昇する。

イダとピンガラは楕円形の脊髄の上に位置する「Triveni トリベニ」と呼ばれる仙骨の中心で分岐する。

精液はクリスティックなエネルギーに変換される。

そのエネルギーは光のワインである。光のワインは我々を生きた仏陀に変換させる。

二つの管、イダとピンガラは中国のゴングの音、或いは音階の「ファ」の音に共振する。

二つの神経管のある脊髄はブラフマンの管である。脊髄はブラフマンの杖であり、アーロンの杖であり、族長達（ヤコブの12人の子たち）の笏であり、モーゼの杖であり、神聖な王たちの王笏であり、インドのヨギが持つ7つの節のある竹竿である。

クンダリーニ覚醒の秘密は、カナンの婚礼においてキリストの行った奇蹟の中にある。水からワインへの変換は、婚礼における性の秘儀のエクスタシーの達成し遂げられ、禁欲の努力と共に水（精液）は錬金術の光のワインへと変換されるであろう。

精気（精液エネルギー）の太陽原子と月の原子が尾骨で接触する時、尾骨内部で大変な苦痛を伴いながら、蛇は動き始める。そして薄幕の袋を破り、普通の人間の場合閉じたままである穴、（扉）を通過して脊髄の中へと入る。精液から立ち上る蒸気（精気）がその脊髄管への扉を開ける。その扉とはスシュムナー管への扉である。スシュムナー管は脊柱に沿って首のつけ根まで続いている。そこを火の蛇、或いはクンダリーニの澄んだ火は上昇する。この聖なる火は、脊髄管の中の、繊細な神経に沿って上昇する。

クンダリーニの上昇はハートの火によって制御される。秘数学において脊椎骨は「<sup>カニオン</sup>キャニオン（管状の道）或いはピラミッド」と呼ばれる。

キャニオンの一つ一つに秘教的名称とパワーが与えられている。

脊柱は33のキャニオンと33の神聖原子を持つ。

クンダリーニの上昇は「キャニオンを一つずつ」、「一段階、一段階」進んで行く。

キャニオンの一つ一つが物質界とアストラル界における厳しい試練を要する。これは言語に絶する悲痛と苦難の道である。

チャクラと脊髄をつなぐ神経路は脊髄の微細管から分岐している。

クンダリーニはキャニオンを「一つ一つ」上昇しながら、我々の有機体のロータス（はす）の花——チャクラ、のすべてに火を灯して行く。

33のキャニオンを通して、我々はアストラル界の偉大なる秘教的メーソン・ロッジの聖室<sup>chamber</sup>を通過して行く。

外側の聖室は小密儀であり、内側の聖室は大密儀である。

生徒は自分自身の内なる存在から秘教的メーソンの挨拶を学ばなければならない。「内なるマスター」が生徒に教えるべきである。クングリーニの太さは蓄積された性エネルギーの量に比例する。クングリーニの色は、生徒の心理的特質により違う。

クングリーニは性の秘儀の實踐に、又、浄化のプロセスに応じて上昇する。つまり、上昇はハートの真価に比例する。

我々の欠点を数え上げ、継続的に、すべての欠点の終焉<sup>しゆうがん</sup>まで、一つ一つの欠点に2ヵ月ずつ専念して浄化しなければならない。この簡単なルールがクングリーニを上昇させるキーである。なぜなら、生徒はそれによりアストラル界と物質界のすべてで勝利者となり、キャニオンを次々と速やかに勝ち進んで行くことができるからである。

たった1回の射精、性的放電でさえヒューズは燃え飛んでしまう。つまり、クングリーニが上昇するための神経管の機能が停止してしまう。そして、火はその過失の大きさによって、一つまたはいくつかのキャニオンを下降する。その結果、勝ち取ったパワーを失うことになる。

我々の主、キリストは言った。「生徒は自分自身を下降させてはならない。失ったものを回復するためには非常なる闘いをしなければならない。」

小密儀のイニシエーションを通して、生徒はゴルゴタの悲劇の全過程を経験しなければならない。そして、ついには高等神秘のイニシエーションのゴルゴタへと昇り着くであろう。そこで、生徒は内なる本質と融合し、白ロジのマスターとなるであろう。

高等神秘のイニシエーションとは二つの原理の融合である。アートマ<sup>Atma</sup> — ブッディ<sup>Buddhi</sup> 或いは大奥儀の五大イニシエーションである。

第一のイニシエーションでアートマ — ブッディの融合を成し遂げ、第五イニシエーションでこの融合にマナス<sup>Manas</sup>を加える。そして第七体は三位に —— 「アートマ — ブッディ — マナス」となる。

大奥儀のイニシエーションは計九つある。

アートマは存在の本質である。アートマは内なる本質である。アートマは我々の内なる天使である。ブッディは我々の<sup>spirit-soul</sup> 靈魂 である。

内なる本質が靈魂と融合する時、人類の新しいマスターが誕生する。「マナス」或いは人<sup>human soul</sup> 間 靈がこの融合に加えられる時、新しい聖なるマスターが誕生する。

<sup>inferior</sup> 救済は低我の外側で始まり、<sup>interior</sup> 内なる我の外側で終わる。

既に乙女座（処女宮）の章で、エデンの七つの蛇について述べた。我々は七つの体と七つの火の蛇を持つ。七つの体の一つ一つはそのクングリーニ、蛇を持つ。

第一の蛇は<sup>buddhic body</sup>ブディック体に位置する七つの教会の扉を汝に開く。聖痕を生じ、クリスト化されたブディック体は、必然的に内なる本質と融合する。

第二の蛇はエーテル体に属し、大奥儀の第二イニシエーションへと我らを導く。そのイニシエーションはエーテル体でトリップするパワー、或いは<sup>MAX</sup>マックス・<sup>Heinrich</sup>ヘインデルが我々に語るころのSoma-puchiconを我々に授ける。

第三の蛇は、アストラル体に相応し、「チャクラ」を、つまりアストラル体の輪、ディスク（円盤）を完全に開く。そして大奥儀の第三イニシエーションに相応する。

第四の蛇はメンタル体に相応し、マインドのクリスト化を可能にする。クリスト - <sup>PARADISE</sup>マインドは我々を大密儀の第四イニシエーションへと導き、我々に「阿羅漢」の段階を授ける。

第五の蛇はコーザル体に属す。アートマ - ブッディに融合させるため、コーザル体から人間霊を抽出する。これは第五のイニシエーションであり、我々に「Aseka」となることを授ける。

第六の蛇は<sup>Buddhi</sup>ブッディに属す。第六の門は、その中で内なる本質の火が燃え盛る白く透き通るアラバスター（精大理石）の杯のようである。あなたは今や、第六の蛇の火が燃え盛るその杯となる。

第七の蛇はまさに内なる本質そのものに属する。

エーテル体から黄金のクングリーニによって<sup>sapient</sup>「サビエント（知恵） - <sup>soul</sup>魂」を抽出する。肉体から、クングリーニによって、「<sup>soul</sup>魂 - <sup>conscience</sup>意識」を抽出し、ブッディに吸収されたそれは内なる本質と融合する。

アストラル体からその乗り物である純白のクングリーニによって<sup>conscious soul</sup>意識霊を抽出する。メンタル体から、そのそれぞれのクングリーニによってアストラル体の<sup>spiritual summary</sup>精神的要約を抽出する。コーザル体、或いは意志体から、<sup>spiritual tablet</sup>霊的刻板、<sup>human soul</sup>人間霊を抽出する。そして第六の第七の蛇は我々をニルバーナの絶妙なる天上の喜びへと連れていく。これが火のパワーの第七段階である。愛と法への畏敬の念のみがこの七つの門すべてを通じて君臨している。

第八、第九段階は我々を言語に絶する世界へと導く。

<sup>pratyeka buddhas</sup>プラティエカ仏陀は第八イニシエーションを受けており、第九イニシエーションは世界の王の段階に属する。

脊柱システムと脊髄の構造は、七つの体に各々同じようにある。七つの体の一つ一つは完全な有機組織体である。七つの脊椎すべてが互いに何の混乱もなく浸透し合っている。

第七イニシエーションは我々に「<sup>Maha ch oan</sup>マハチョーハン」の段階を与える。マハチョーハンはアカシックレコードの門番となり、白ロジのワークの指導者となる。

急流を行くHoang - hoの水は「ゴング」の音に上がったり下がったりする。つまり、自然界のキーノート（主音）「ファ」は生命の聖なる川の流れの中で我々のクングリーニを振動させる。

仏陀、火星の救世主は、現在、火星からブディックエネルギーを放射している。火星はさそり座で、我々の生殖システムに入り、我々の内でクリスト化を誘発する。ブディック原子は我々の精液管を流れる。ブディック原子は火星の力強さによって我々の内的乗り物を満たし、まさに内的組織に浸透する。

仏陀は戦士となり、火星から、そのパワフルな「<sup>Buddhic</sup>ブディック - <sup>Martian</sup>火星」エネルギーを放射している。

何と素晴らしい創造の驚異であろう。

仏陀は戦士となったのである。

「ブディック - 火星」原子は直観の時代を生み出すであろう。

我々のブディック原理とは、存在の本質の最高度の意識である。「<sup>soul-spirit</sup>靈魂」である。今や、火星の戦士の<sup>force</sup>力はブディックとなった。そして、光の英雄たちは、あらゆる所から、出現するであろう。

さそり座で火星は、人間のクリスト化達成のため、仏陀の原子が我々の生殖システムに達するように働く。火星の力のもとに、ブディック原子は我々を生きたクリストに変換させるであろう。

仏陀、火星人のキリストは、今、我々の生殖システムの中で鼓動する。我々の体と我々のブディック原子は至高の知識を「感じる」という贈物を我々に授ける。ブディック意識は今や戦闘的となり、新しいタイプの戦士が誕生した。それは光の戦士であり、新しい時代の勇士である。新しい時代は今世紀の戦争の中から出現するであろう。なぜなら、火星は今やブディックであるからである。

火星における仏陀の犠牲的行為は我々のキリストが地球でなした行為と同じである。仏陀は、後に火星のキリストになるため、地球で自分自身を準備した。

さそり座の人は強い意志の持ち主である。しかし、怒りや憎しみや復讐心という欠点と闘わなければならない。さそり座の人は非常に貞節であるか、或いは全くの淫らであるかのどちらかである。往々にして30才になる前、苦難を経験することになる。

トパーズがその石であり、明るい赤がその色であり、鉄がその金属である。

人間の子供たちよ。ニルバーナのたとえようのない至福に入りたくはないか。

神々になりたくはないか。

クリストになりたくはないか。

生と死の繰り返しの輪から解放されたくはないか。

ここにあなた方に、性の秘儀のキーを与えた。

それ以上何を欲すると言うのか？

兄弟として

あなた方のクラスの教師

Samael Aun Weor

ノーシスを学ぶ者のための

秘教的ゾディアカル（黄道体12星座）コース

人馬宮（射手座）

11月23日～12月21日



by Emiko Hori

支配する体の部分	: 腰、大腿
金属	: 錫
石	: アロエ
香	: ブルーサファイア
木	: <sup>リウウツク</sup> 竜舌蘭、マゲイ
花	: あじさい
惑星	: 木星
色	: 青
自然界の要素	: 火
キーワード	: 博愛
曜日	: 木曜
支配主	: サチャリエル

### 親愛なる生徒達へ

このコースも今回で黄道帯12星座宮の第9宮、人馬宮（射手座）に到達する。その金属は錫でその石はブルーサファイアである。

射手座の人は極度に情熱的であり、また、性エネルギーを消耗しやすい。

エリファス・レヴィは次のように述べている。

「不幸なる者はデリラに眠らされた“カバラのサムソン”である。オンパレ<sup>On p a l i a \*1</sup>の骨と王笏とを交換した技能の士、ヘラクレス<sup>D e y a n i r a \*2</sup>はディアネイラの復讐をすぐに知ったが、彼には、ネッソス<sup>N e s s o</sup>のローブを纏った拷問をむさぼる者達から逃れるためには、エトナ山の火以外は何も残らないであろう。」

太陽系の七惑星は七つのセフィロトであり、三位一体を成す霊的太阳はセフィロトの冠を形づくる。これらの十のセフィロトは、我々の意識の内に生き、鼓動する。我々の内的宇宙の素晴らしい実験室でそれら进行操作し、変化させることを我々は学ばねばならない。十のセフィロトとは：

**KETHER** ケテル：平衡のエネルギー<sup>f o r c e</sup>。タロットの一番目のアルカナ、「魔術師」。それを表す原始象形は人である。

**CHOKMAH** チョクマ：智恵。タロットの第二のカード、女神官。秘教的知恵、月、原始象形文字は人間の口である。

**BINAH** ビナー：知性<sup>インテリジェンス</sup>。惑星金星<sup>ヴィーナス</sup>。タロットの第三のカード、皇妃。原始的シンボルは獲得しようとする手である。

これらの三つのセフィロトがセフィロトの冠である。そして下位の七つのセフィロトは以下の如くである。

CHESED チェセッド：<sup>ジュピター</sup>木星。神聖なる存在。アートマン。原始象形文字は乳房である。タロットの第四のカード。慈悲。皇帝のカード。

GEBURAH ゲブラー：嚴格。人の第五のカード。教皇あるいはタロットの司祭：火星、牡羊座の戦士。

TIPHERETH ティフェレット：<sup>フィナス</sup>牡牛座の金星、美、<sup>the Holy Spirit</sup>神聖靈の愛。人間のブッディ体。タロットの第六のカード。恋人。

HOD ホド：<sup>マーキュリー</sup>双子座の水 星。タロットの二輪戦車。第七のカード、そして万物の永遠性。

NETSAH ネツァ：アルカナの正義。タロットの第八のカード。<sup>サターン</sup>土星。勝利。

JESOD イエソッド：獅子座の<sup>サン</sup>太陽。タロットの第九のカード。隠者。絶対。

HALKUTH マルクット：全宇宙。聖母マリアまたは乙女座。大自然。

これらの十のセフィロトは我々の存在の本質の内に生き、また我々の太陽でもある。タロットは秘教的占星術や奥儀参入と密接な関係がある。

アルカナ X (10)：アポロニウスの第一時刻、<sup>ネオプラトニズム</sup>神秘学の直観的な考察である。

アルカナ XI (11)：アポロニウスの第二時刻。力。火の奈落。アストラルの美德は竜と火によって輪を形成する。（<sup>ネオプラトニズム</sup>神秘的諸力の考察）。

アルカナ XII (12)：犠牲。アポロニウスの第三時刻。蛇、犬、火。性の錬金術。クングリーニによるワーク（性の秘儀）。

アルカナ XIII (13)：死。アポロニウスの第四時刻。新参者は夜、墓地を彷徨い、恐怖の幻影を経験し、魔術と Goethia を行うであろう。（これは学徒が、アストラル界において何百万という黒魔術師の攻撃を受ける自分自身を見るであろうことを意味する。これら闇の魔術師は学徒を光の道から引きずり下ろそうとするであろう。）

アルカナ XIV (14)：二つの壺、「高次の磁性と人間の磁性」。天国の超越した水。この間、学徒は純粋で貞節であることを学ぶであろう。何故なら、彼は性液の価値を深く理解するからである。

アルカナ XV (15)：（電氣的嵐）パフォメット。アポロニウスの第六時刻。

「ここでは恐怖故にじっと静止する必要がある。」（これが意味するものは、境域の守護霊の課す

凄まじい試練で、それを克服するのに大変な勇気が必要とする。)

アルカナXVI(16): 爆鳴の塔。アポロニウスの第七時刻。火は勇気ある者を慰める。そして、司祭である者、十分に自分を浄化した者がその火を盗み出し射出するなら、また、その火と聖油と混合し清めるなら、彼はそれを単に病に冒された部分につけるだけで治療を成すことができるであろう。(イニシエートはここでは自分の物質的財産が脅かされたり、ビジネスの失敗を見る。)

アルカナXVII(17): 希望の星。アポロニウスの第八時刻。

アルカナXVIII(18): 東方の三博士の星。アポロニウスの第九時刻。自然界のエレメンタルの、そしてあらゆるタイプの種子(精液)のアストラルの美德。(小密儀の考察、学徒がそこを通り、登らなければならない九の回廊。)

アルカナXIX(19): 輝く光。アポロニウスの第十時刻。「天国の門は開き、人は昏睡の眠りから抜け出す。」これはイニシエートがエーテル体でトリップすることを可能にする、大奥儀参入の第二イニシエーションの十番にあたる。これはバアテスマのヨハネの叡智である。

アルカナXX(20): 「死者の目覚め」。アポロニウスの第十一時刻。「天使たち、チェルビムとセラフィムは翼を羽ばたかせて飛翔する。歡喜は天国にあり、大地は目覚め、太陽はアダムから燃え立つ。」

この過程は、ただ法の畏怖が君臨する大奥儀参入に属す。

アルカナXXI(21): 魔術師の冠。アポロニウスの第十二時刻。火の宮廷は静まる。これは涅槃の限りない至福への勝利の入場である。そこではマスターは法身仏の輝くローブを纏うか、それとも人類への愛ゆえに涅槃の至福を放棄し、慈悲の菩薩となる。彼は哀れな人類の救世者である。彼は殉教者の血と共に建てられた防御の壁のもう一つの楔である。報身仏、<sup>★7</sup>「完徳」のマスターは人類への愛ゆえに涅槃を放棄した。

ダルマカーヤの栄光に包まれた完全なる仏陀は、もはや人間を人類を救済することはできない。何故なら、涅槃は世界や人間を永遠に忘却することであるからである。菩薩、観世音、Tashisni、<sup>★8</sup>仏陀そしてキリストはその光線を苦しむ人類へと放射する。

偉大な犠牲の後、菩薩は至福の超ニルバーナ界に入る。防御の壁は「慈悲の菩薩」によって創られる。我々ノスティックは我らの先を行く方々の後に続く。

Aum Va j r a p n i Hum  
オーム ヴァジラパニ ウン

[Vajrap(a)ni : 仁王(金剛力士)]

この射手座の木星のレッスンにおいてニルバーナの道を説いてきた。何故なら、雷鳴のような木星は我々の内なる存在の聖なるシンボルだからである。これは我々にローマ時代のジュピター神殿を思い起こさせる。射手座の木星は大腿部の動脈に影響を与える。そこで血は完全に木星の下に磁気化され

る。

## エクササイズ

ペルーの蛙のような恰好で座る。手を脚の上に置く。マスター・ウィラコッチャの教えの通りに人指し指は天の方向に上を向け、木星の光線を引きつけるようにする。そうすれば大腿部は強力に磁気化されるであろう。

マントラは「ISIS」で、次のように声を出して唱える。

iiiiiiiisssssssssiiiiiiiissssssss・・・Sは空気を出すように歯擦音で発音する。このマントラのエクササイズによりあなた方は超視覚を完全に目覚めさせ、自然界のアカシック・レコードを読むパワーを獲得するであろう。

そして、大天使サチャリエルを我々の援助のために召喚下さるようにならざるに内なる存在を深く瞑想し懇願しなければならない。

道において、偉大なる賢人、アポロニウスが語ったところの12の時刻総てを我々は生きなければならない。黒魔術師、パピュス<sup>PAPIUS</sup>は世界中に流布していた何百万という総てのカバラの書物を一掃しながら、黒魔術の教えによってアポロニウスの12の時刻の価値を傷つけようと試みた。我々は次の結論に達した—総てのカバラはタロットの22の大アルカナと自然界の四大要素を表す(トランプの)4つのエースに要約される。

そのような単純な事に、学者達は何百万もの書物や理論を綴ってきた。そういったものはあらゆる書物や理論を武器にして理知的(インテリ化)になろうとする悪趣味のある者を「気違い」へと変えることであろう。

その中でも最悪なのは、カバラの探求で発見したことを真の教えの価値を傷つけ、世界を邪道に導くため、黒魔術師達が引き継いだことである。パピュスの著作は全くの黒魔術である。

タロットは古代の書であり、惑星の神々の叡智と密接に関係がある。この書は一組のタロットであり、78枚のカードからなり、大アルカナと呼ばれる22枚と小アルカナと呼ばれる56枚に分けられる。

4枚のエースは自然界の四大要素を表す。

♠スベードのエースは火を象徴する。

♥ハートのエースは水を象徴する。

◇ダイヤのエースは空気を象徴する。

♣クラブのエースは土を象徴する。

小アルカナの56枚のカードはこれら4枚のエースと十進法に基づいている。例えば、22の大アルカナの中でクラブの4はアルカナ「4」の皇帝、そしてクラブのエース「1」のシンボルが4回繰り返されたものに他ならない。同じことが小アルカナの56枚のカードで起こる。自然界の要素と大アルカナとを結合させて、これら小アルカナのカードを直観的に解釈するならば、問題は解決される。

例えば、ダイヤの6は大アルカナ6と空気、あるいはダイヤに象徴される「霊」とを結合させて解釈する。これは「恋愛」を意味する。他のカードも同様である。

2種類のカバリストがいる。Intellectual（インテレクト）のカバリストと直観のカバリストである。インテレクトのカバリストとは黒魔術師である。直観のカバリストとは白魔術師である。

惑星の神々は多くの場合、タロットのカードを示すことにより我々に解答を与える。そして、我々は与えられた答えを直観的に理解するのである。直観のカバリストは単にタロットのカードを見るだけでそこにどのような運命があるかを理解するのである。

ある時、私は旅行をするのに惑星の天才に相談した。と言うのは経済的な準備ができていなかったからである。惑星の天才は私に3枚のカードを示した。その内の一枚は、総てが金で美しく飾られているダイヤのキングであった。私はハートで理解し、旅行することにした。総ては大変うまく運んだ。

人類が私の前で審判された時、タロットは7列に並べられた。6列目のあるカードが示された時、神々は大淫婦（人類）を審判し、価値のないものと見做した。神々の宣告は「奈落へ、奈落へ、奈落へ、奈落へ！」であった。（人類のナンバーは666である。）

白魔術師は神々に祈り、目を閉じテーブルにカードを投じる。彼の神に懇願しながら一枚のカードを取り上げ、それを観察し、直観で予言する。タロットの各々のカードはその一枚で完全な予言を含んでいる。

射手座のエクササイズは超視覚を呼び覚まし、これまで述べたようなことを理解し、見るためのものである。直観のカバリストは総てをハートで理解する。インテレクトのカバリストは何事も動物マインドで解決しようとする。直観のカバリストは沈黙の声、内なる本質のみに導かれる。タロットカードは光の高次界の言語である。タロットカードは惑星の神々の神秘の叡智である。

アポロニウスの12の時刻はイニシエーションの道である。神のようにシンプルで崇高なこの本に因し、人間があまりにも多くの理論を積み上げて来たことを考えると恐ろしいほどである。

タロットの78枚は $1+2+3+4=10$ 、人と呼ばれる五天使のピラミッドの中で輝く78の神聖な象形文字のようである。学徒の全進化過程はこの数字に基づく。各年にはその年を直観的に予測できるカバラ的カードがある。

〈例〉

1951年は次のようになる。 $1+9+5+1=16$ 、アルカナ16。爆鳴の塔。高次的破壊を意

味する。1952年3月21日以前、一つの大国家が大変なカルマ的罰を受けた。(これは既に明らかである。) 生年月日の数字を足すことにより、我々自身のカバラ的数が得られる。姓名に使われている文字を順番に数字に換算して計算する者もある。イグレスィアス・ジャンネイロはこの方法の専門家である。しかし我々はこういった派に関心はない。何故なら、これに関しては未だ科学的秘教的な深い考察がなされていないからである。人々の姓名に関して私が証明したただ一つのことは、人々の名前のその文字の意味に従い、カルマが読み取れるということである。例えば、DOLORES という名の女性は人生で言うに言われぬ苦しみを体験する。あるコロンビアの政治家はTURBAYという苗字である。TURBAYを分けるとTURBA AIS あるいはAI TURUBA になる。この政治家は成功を見ることなく死に、TURBAS (大衆) は彼を支持しなかった。

真正なカバリストは内なる存在の声の下にのみ行動する。インテレクトがタロットカードを解釈しようとするなら、最も悲惨な道へと道を違える。

タロットは星々の秘<sup>ミステリ</sup>密<sup>シム</sup>の叡智である。

タロットカードはエデンの光の最も神聖な世界から来たものである。22の大アルカナは以下の通りである。

- 1 人、あるいは魔術師
- 2 女性そして神秘学<sup>カバラ</sup>
- 3 人類そして創造
- 4 力、そして被造物<sup>パワー</sup>
- 5 権威そして精神的人生
- 6 愛そして恋の魅力
- 7 戦車、闘争
- 8 正義、苦難
- 9 神聖愛、思慮分別
- 10 富
- 11 勇気
- 12 犠牲
- 13 死、変換
- 14 禁欲、貞節
- 15 宿命
- 16 大災害と破壊
- 17 希望
- 18 隠れた敵<sup>secret enemy</sup>
- 19 真実
- 20 変化
- 21 完全な墮落
- 22 勝利

兄弟として  
あなた方のクラスの教師  
サマエル アウン ベオール

[訳注]

- \* 1 Onfalia : オンバレ? リュディアの王女で、ヘラクレスがイピトス殺しの罪を償うために奴隷として売られることになった時使えた女主人。
- \* 2 ディアネイラ : ヘラクレスの第二の妻。彼女はヘラクレスが興味を示した少女に嫉妬しヘラクレスの下着をネッソスの血に浸した。これはケンタウロスのネッソスの陰謀でヘラクレスがその衣を着た途端、毒が全身に広がって火のように彼を焼き殺した。しかし死後、ゼウスが彼をオリンポスの山に運び、不死の身体が与えられた。
- \* 3 アポロニウスの12の時刻 : ディアナのアポロニウスの「ヌクテメロン」の書」。エリファス・レヴィの解説が有名。
- \* 4 Goethia : 闇の存在を喚起する一つの科学。しかし、術者は邪悪な力に翻弄されたままである。これに対し神聖な光の存在を召喚して崇高な教えを授かり援助を願う魔術 (Theurgy) と区別すること。
- \* 5 法身仏 : Dharmaśāstra 完全な仏陀。意識は宇宙意識に没入し、魂はあらゆる属性を持たない。
- \* 6 防御の壁 : ヨギ、聖人、超人、特に化身物 (ニルマナカーヤ) の長い間の努力の集積によって人類の周りには保護の城壁が巡らされた。目には見えないが、悪魔より人間を保護する。
- \* 7 報身仏 : Saṃyak Sambuddho 法身仏の表れ。法身には形態がないので人々に現れる時は、人々に応じ、ある人には仏陀として、ある人にはキリストとして現れる。
- \* 8 Tashiṅpo : 別名Tashi Lamaのパンチェン・ラマか? グライ・ラマに次ぐ地位でラマ教の副教主。
- \* 9 バビュス : 1865-1916 スペイン生れのフランスの神秘家。医学、魔術、神智学、錬金術を修める。 "The Tarot of the Bohemians" (Rider, 1910)

ノーシスを学ぶ者のための

秘教的ゾディアカル（黄道帯12星座宮）コース

磨羯宮（山羊座）

12月22日～1月19日



支配する体の部分	: 膝、皮膚
金属	: 鉛
石	: 縞めのう
香	: 松エッセンス
木	: 実芭蕉 False Plantain
花	: はす
惑星	: 土星
色	: 黒
自然界の要素	: 土
キーワード	: 妨害
曜日	: 土星
支配主	: オリフィエル

親愛なる生徒達へ

今回、我々は黄道帯12星座宮の磨羯宮(山羊座)へと到った。この星座は時の長老、土星の館である。土星は太陽系で地球から最も遠い惑星である。月は地球に一番近い衛星である。次に近いのが水星で、さらに規則正しい間隔で金星、太陽、火星、木星、土星の順になる。

古代の暦はこの自然的宇宙的基礎に基づいて月曜、水曜、金曜、日曜、火曜、木曜、土曜になっていた。

ローマ・カトリック教会はこの正当なカレンダーを混乱させた。この変造されたカレンダーに基づいて現代の算術的占星学は創設された。誤った暦に基づいて算出される現代の占星学が全くの失敗であるのは必然である。

真の古代占星学を修復、再建するのは、今、我々の責任である。再び正当なる古代暦に戻すことは重要であり、緊急を要する事である。

マックス・ハイデルやAlpheratによる総ての占星学の著作は不正な暦に基づいており、根本的基礎に欠けるが故に解釈を誤っている。

我々ノスティックは秘教的叡知の再建者である。

サマエル アウン ベオールは水瓶座の時代の深遠なるアバターラである。私は新時代の創始者である。意識の高次界からの使者である。そして、新しい時代の文明を持たらす為にやって来た。神々の新しい種族を形成するために来た。私に耳を傾けよ。「求めよ、さらば、与えられん。」

「叩けよ、さらば、開かれん。」聖書は述べている。

アルカーノ

エスター

あなた方には偉大なる秘儀の、言語に絶する密儀を伝えて来た。そしてあなた方は自然界を統治するよう、星々のきらめきを操作することを学んで欲しい。

私の述べることを正しく理解なさい。占星術年鑑にある天体時間や一般的占星学のテキストは不正で、不合理である。何故なら、現代暦が不正で、不合理であるからである。そして、古代の人々は現代の占星家が「ご自慢」の奇妙な天体時間は使っていないからである。

いにしえ

circle クロス

古の賢人は一日を完全な輪の中の十字と考えた。これら星々の黙想者は注意深い眼をもって、星々の秘密に深く浸透し、惑星の神々の啓蒙を受けた。これら古の占星学者は一日が、円の中の十字のように、四つに分かれることを神々から学んだ。

彼らは古代の順序——月、水星、金星、太陽、火星、木星、土星——に従って一日が四惑星のみによって統治されることを知っていた。一日の最初の四分の一は、その曜日と同じ名前の惑星によって司られる。そして残りの三つの部分は惑星の順——月、水星、金星、太陽、火星、木星、土星——に従ってそれぞれ相当する。

現在の月曜日は実際は日曜日に相当する。土曜日は第七番目の曜日である。

次の図は真の惑星の順序を表す。

	☾	♁	♂	☉
月曜日	♁	♂	☉	♁
水曜日	♂	☉	♁	♂
金曜日	☉	♁	♂	♁
日曜日	♁	♂	♁	♂
火曜日	♂	♁	♂	☾
木曜日	♁	♂	☾	♁
土曜日	♂	☾	♁	♂

惑星のサインを知らない人のために次に示そう。

月	☾
水星	♁
金星	♀
太陽	☉
火星	♂
木星	♁
土星	♁

このようにして一日の十二時間は四分割され、それぞれ三時間ずつとなる。

この単純で速い、簡単な方法で我々は所定の時間にどの惑星が宇宙を司っているかを正確に知ることができる。このシステムは偉大な古代の占星学者の知っていたものであり、これを彼らは惑星の神々から学んだ。

ここでは算術的占星者のよく使う計算の必要はない。ここで必要なことはほんの少しの実践と恒星時間を知る為の感覚である。

この単純にして卓越したシステムは誰でも学ぶことができる。それはここでは多くの複雑な事や  
TABLES OF HOUSES おびただ  
「対数」やら「十二天宮図」やら、夥しい量の「占星天体位置換算表」やら、算術的占星学の知ったかぶりの複雑な専門語などが不要だからである。

enlightened  
占星学者の新しい系統、「新しい時代」の正覚者達、水瓶座の勇者達が生まれた。もはや我々は算術的星占いを必要としない。今や我々は人間の運命を知るために神々と交信するからである。

時代遅れの占星学教授達よ、頭の埃を振り払いなさい。水瓶座を告げる最初の鐘が、復活を讃え鳴り響いた。

算術的占星者達よ、我々の邪魔をするのはやめなさい。我々はもうあなた達の間違いいはあきあき  
TABLES OF HOUSES  
した。専門語だらけの対数やら換算表やら十二天宮図やら全て焼き尽くしなさい！

我々は今や新時代の勇者、星の神々と対話の出来る正覚を得た占星者達にのみ関心がある。我々はもう余りにも多くの理論にうんざりした。我々は本質へ、実際的であるものへ、真実であるものへと向かう。数字という松葉杖に支えられた盲目の占星学者は不要である！

今や我々は星々の超視覚者に、星の寺院の司祭に、水瓶座の賢人に関心があるのみである。

学徒は星々と共にワークする時間を選ばなければならない。

月の時間には月と共にワークが出来る。水星の時間には水星と共にワークが出来る。土星は縁の天使団エンジェルの住まいである。この天使団は人間に「動物霊」、またはメンタル体を与えた。

スクール  
マインドはあらゆる種類の「学派」、宗教、宗派、信仰などから解放されなくてはならない。

そのような総ての「檻」はマインドが自由に考える力を無くさせる障害物である。外的世界の幻想から自由になり、内なる本質のデリケートな素晴らしい道具となる必要がある。

我々はマインドを総ての欲望の理論から解放しなければならない。

マインドをクリスト化すること—「クリスト・マインド」が重要である。

ハートと共にのみ考えるマインドが必要である。<sup>hunches</sup>直観の声とのみ働くマインドが必要である。ハートからの命令に、理由を求めないマインドが必要である。直観の声のみに従うマインドが「クリスト・マインド」である。判断などしないでハートの命令に従って行動するマインドが「クリスト・マインド」である。外的衝撃の前で動じることのないマインドが「クリスト・マインド」である。

マインドはハートの道具とならなければならない。

理性が何を知るといふのか。理性は外的幻想に基づいた、マインドの苦痛のプロセスである。

アンチテーゼ  
理性はただマインドを反立の闘いに分裂させるのみである。理性の判断は無知の産物であり、常に苦痛を持たらす。

新人類は直観の人類である。

intuition  
直観は沈黙の声と共にのみ行動する。

マインドの完全なクリスト化はメンタル体のクンダリーニによってのみ達成される。

メンタル体のクンダリーニは火のパワーの第四段階である。

メンタル体のクンダリーニによって我々は動物霊から「クリスト・マインド」を抽出する。メンタル体の寺院から総ての俗界の思考を駆逐しなければならない。

マダム・H. P. ブラバッキーは「沈黙の声」で次のように述べている。(P. 84)

「いかに強き娑婆思想が吹き込まんも、一陣の微風さえ洩れこまざるよう理性堅固ならざるべからず。斯く清まりて宮居は一切行為、音即ち娑婆の光を避けざるべからず。さながら蝶が霜に負けて、家の入口に死するが如く、俗世の一切思想は、堅固なる思想の殿堂の前に死して墜落せざるべからず。」

聖書にかく記されたるを見よ。

『黄金なす焰が燦たる光を放って燃ゆるには、四方より吹き来る風を避けて、ランプは一定の場所によく立てて、これを見守るべきなり』と。

理性は「動物我」の声であり、「直観」は「内なる本質」の声である。理性は外からのものであり

直観は内からのものである。

フルハット

火のパワーの第四段階は、我々を阿羅漢へと変換する。

メンタル体にも又、脊髓と蛇がある。マインドのクンダリーニの上昇はハートの真価（功德）に応じて達成される。

サターン

山羊座においてマインドの事を語るのは、この星座が土星の館であり、人間にメンタル体を与えた緑の天使団がそこに住むからである。

ヒエラルキー

サターン

山羊座は土星の館であるが故に天国の扉である。

ultra-Saturnian sphere

死後、霊が肉体から離脱すると超土星圏へ達し、無限空間へと沈む。そして、完全なる無限がその内に存在するような感覚を生じる。この感覚は霊が新しい肉体へ入ろうとしているのを自覚するまで継続する。それはまた生命の螺旋を上昇し続けるために、新しい肉体で苦しみ多い人生の学校へ戻ることを意味する。

Lord サターン カプリコン

死を司る神、土星は山羊座にその館を見出す。山羊座は膝と骨格に影響を与える。大地から上昇するエネルギーは膝に達すると土星の導きで充電され、強さと不変性が与えられる。

サターン

膝には驚くべき物質があり、それによってシンプルですばらしい骨のギアの自由自在の動きが可能となる。その物質の名は“SINOVI A-シノヴィア”で、その意味するものはSIN-共に(wit h)、OVI A-卵(egg)である。

卵は真に驚くべき物質である。人間のパーソナリティーの展開に関する秘教的、且つ非常に科学的な実験によって、卵の殻がアストラル界での展開（トラベル）を容易にするオカルトパワーがあることが確認された。

そのキーは卵の殻を粉末にすることにある。学徒はこの粉末を胸や脇の下につけ、毛布をきちんと掛けてベッドに横たわる。マントラ「ファラオン-FARAON」を唱えながら静かに眠りにつく。  
Faaaaaaaaaaaaa Raaaaaaaaaaaaa Onnnnnnnnnnnnn

これはメンタリーに唱えてもよい。鈍く無感覚になってきたら、ベッドから起き上がりノスティック教会へと向かう。

クリエーション

マントラの最初の「ファーFa」の音は中国のゴングの音、或いは全ての創造に鳴り響く音階の「ファ」に相応する。この音は母なる自然に共鳴するように発音しなければならない。



ノースを学ぶ者のための  
秘教的ゾディアカル（黄道帯12星座宮）コース

宝瓶宮（水瓶座）

1月20日～2月18日



by Emiko Hori

支配する体の部分	： ふくらはぎ、くるぶし
金属	： アルミニウム、ウラン、鉛
石	： サファイア、黒真珠
香	： <small>かんしょうこう</small> 甘松香
木	： 松、しだれ糸杉
花	： オランダ水仙
惑星	： 天王星
色	： 緑
自然界の要素	： 空気
キーワード	： 利他
曜日	： 土曜
支配主	： アルチャー、サクマクレル

### 親愛なる生徒達へ

今回、我々は黄道帯12星座宮の宝瓶宮（水瓶座）へと到る。ここでは我々は率直でなければならない。

クリスト化は我々の体の一つ又一つと次第に達成されていく。クリスト化の初めは靈意識からである。靈意識とは靈魂、ブッディ体を豊かにする為、ブッディ体のクンダリーニによって肉体から抽出されるものである。

クリスト化され聖痕発現したブッディ体は内なる本質と必然的に融合する。

次にエーテル体のクリスト化と聖痕発現がある。これは「エーテル体」のクンダリーニの発達、進化、上昇によって達成される。

各々の体には「脳脊髄」神経系、脊髄、クンダリーニがある。各々の体はそれぞれ一つの完全な有機的組織体である。我々はそのような七つの体、七つの脊髄、七つのクンダリーニを持つ。

困難な努力と疲まじく、かつ苦しい試練の後、我々はエーテル体の黄金のクンダリーニを完全に上昇させることができる。その時、聖なる父の太陽は雨の夜を照らし、賢人の頭上の五芒星は苦しみの試練の総てに彼が合格したことを示す。

さらには賢人の高等神秘（大密議）の第二イニシエーションの時が定められる。そして高等神秘の第二イニシエーションを授かる為、賢人は幸福なる勝利なる寺院へと入場する。

このイニシエーションは、彼にコスミック界の総てにエーテル体でトリップできるパワーを授与する。

エーテル体のクダリーニはエーテル体のもつ総ての機能を開く。エーテル体の霊的抽出物は少しずつ内なる本質に吸収されていく。

その後アストラル体のクリスト化と聖痕発現が続く。アストラル体のクダリーニの色は「輝く光」の色であり、その専門家の導きにより目覚める。  
specialist

アストラル体のクダリーニはアストラル体のチャクラを開く。それゆえアストラル体のチャクラを完璧に開発するには、アストラル体のクダリーニである第三のクダリーニによってのみ可能である。

アストラル体のクダリーニが、アストラル体の脊髄にあるスシュムナ管の微細管を通して上昇するのは大変辛く困難な務めである。アストラル体の「各キャニオン（管状の道）」を征服するために我々は最も凄まじく言語に絶する程の誘惑を克服し、打ち負かさなければならない。

アストラル体のクダリーニの完全な上昇を獲得したなら、高等神秘の第三イニシエーションへと進み、総ての磁気の輪や賢人のアストラル体のディスク（円盤）は完全に開いたままとなり眩く輝く。  
まぶさ

その後我々をアルハットへと変換させるマインドのクリスト化が成る。この仕事は第四のクダリーニであるメンタル体のクダリーニによって達成される。

第五の火の蛇はコーザル体、高位のマナスに属する。そこから我々は人間霊を抽出し内なるマスターと融合する。そして我々は七つの体を至高の三位一体、「アートマ・ブッディ・マナス」に融合する。

ブッディ体と「アトミック体」に属する二つの高位の蛇は、我々に涅槃の至福と叡知を授ける。

高等神秘の第八、第九イニシエーションは実質上マクロコスミックである。従って、重要な部分は七つの体の「クリスト化」にあり、全秘密は男性生殖器と女性生殖器とにある。

#### Holy Spirit

聖霊の火は精液から上昇し、それは我々を神々へと変換する。聖霊の火は七段階のパワーを持つ。それは火のパワーの七段階である。

精神主義者の本の中で彼らが「イニシエーション」を語る時の総ての象徴的叙述は全く比喩的ではない。何故なら、私以前に誰一人として火のパワーの七段階についてペールをはがした者はいないからである。

最近まで精神主義者の殆どはクダリーニの覚醒に関して次のように信じていた。――クダリーニは一瞬にして頭へと上昇し、人は自動的にその内なる本質、或いは内なる神と瞬時に融合しマハトマ（大聖）へと変換する。何と簡単に！何と気楽に神智学者や薔薇十字会、精神主義者等そういつ

た総ての人々は高等イニシエーションを想像しえたのであろうか。

クリスト化のペールを取り去るのは私の責任であった。だからこそあなた方が理解できるようそれについて明確に語るのである。

七つのクダリーニそれぞれの上昇はゆっくりと困難である。各キャニオンの征服には凄まじい試験を要する。それは各キャニオン、脊椎骨が決定的な秘教的パワーを表しているからである。

それらは七つの蛇であり、七つ壮絶なる門である。ただ愛と法への畏怖のみが七つの門全てに君臨する。欲望を殺すことのみでなく、欲望に関しての知識そのものも欠くべからざるものである。パワーに関するすべての秘密は性に存在する。

性の力は「<sup>force</sup>唯一無二」、無比なるものであり、完全に普遍的な特質を持つ。その最も重要な資源は絶対の内にある。<sup>ユニヴァーサル</sup>

マハマンバンターラ（宇宙の一日）の始めに、性の力は火のパワーの七段階を通して表現し、そしてその七段階は我々の七つの体に存在する。それらは七つの門を通して我々がひとつひとつ上昇させなければならない七つの蛇である！仏陀はこのように語った。「私の教えを正しく聞きなさい。人間<sup>サイキックエクス</sup>仏陀の一人一人の内に七つの仏陀がある！これらは七つの体と七つの蛇から抽出した七つの霊的抽出物である。」

生きとし生けるもの総ての性器官はその唯一無二なる普遍的性エネルギーの単なる器にすぎない。<sup>うつわ・instrument</sup>

全ての帝国へと到るキー、全てのパワーのキーは性の秘儀のうちにある。

我々のメタリックな蛇、もっと分かり易く言うならば、笏の頭にある我々の七つの蛇を上昇させなければならない。ちょうどモーゼが砂漠で行なったようにである。そして、我々は自身を「至福に充ちた涅槃」の恐るべきパワーへと変換するであろう。

水瓶座はふくらはぎを統治する。ブラジル人は“VENTRES DAS PERNAS”とか“MATRIZ DOS PERNAS”と呼ぶ。それは「足の腹部」あるいは「足の子宮」と言う意味である。

原初の両性具有人は「胚種」によって繁殖した。かつてそれらの胚はふくらはぎから分離した。ふくらはぎは大変性的である。だからこそ男性は皆、美しいふくらはぎを持つ女性に性的な魅力を感じるのである。地と天からのエネルギーはそこで出会い互いに結合する。<sup>erotic</sup>

水瓶座の間、次のエクササイズをする。

## エクササイズ

ふくらはぎを下から上へマッサージしながらこのように祈る。

「エネルギーよ、流れよ！エネルギーよ、流れよ！私の有機体に浸透せよ。下から昇るエネルギーよ、上昇し、その姉妹である天からの『天王星』からの流れと結合せよ。」

そして学徒は自身を内なる瞑想へともっていく。我々の啓示の達成の為、水瓶座の天才を召喚くださるよう、「内なる自身」が水瓶座の星の寺院へ入場くださるよう祈る。

水瓶座は天王星の館である。この惑星は純潔、「天才」の独創力、叡知をもたらす。水瓶座の人は自立心が強く、強い意志力を持つ。直観的で旅を好む。科学と叡知を愛する。彼らは自然科学的な事に興味を示す。

兄弟として

あなた方のクラスの教師

サマエル アウン ベオール

双魚宮（魚座）

2月19日～3月20日



by Emiko Hori

支配する体の部分	: 足
金属	: プラチナ、錫
石	: アメジスト
香	: タイム
木	: 竜舌蘭 (マゲイ)、false plantain (大型バナナ?)
花	: すみれ
惑星	: 海王星
色	: 紫 (バイオレット)
自然界の要素	: 水
キーワード	: 威厳
曜日	: 木曜
支配主	: ラサモサ、ウアカビエル

## 親愛なる生徒達へ

今回、我々は黄道帯12星座宮の最後の星座、双魚宮(魚座)に到った。この星座は海王星と木星が司る。

この秘教的ゾディアカル・コースの目的はただ一つ——すなわちあなた方がニルヴァーナ(涅槃)の限りなき闘いを勝ち抜くことである。

ニルヴァーナは深遠なる静寂と非存在の谷である。しかし実際は、我々の「<sup>ビーイング</sup> 真実の存在の本質」が存在するところ。そこでは、通常感覚を超越し、我々の理解の範囲から非常にかけ離れた形で我々は住む。そのためそれを「非存在」と呼ぶが、実際は我々の「真実の存在の本質」がそこには存在する。

ニルヴァーナは愛を超越している。愛を超越するものとは、<sup>absolute happiness</sup> 「絶対なる幸福」である。

ニルヴァーナは欲望を、マインドを、意志を、知性を、そして、意識をもはるかに超越して存在する。

ニルヴァーナは存在の本質の領域である。

それをどう表現したらよいのか?そこでは、霊は完全に内なる存在と融合し、無限なる幸福の中で全能とパワーを強く感じる。

そこでは、水のひとしずくが大海の中に融合し、大海がひとしずくの中にある。そこでは言い表せぬ程の妙なるメロディーが、総ての理解をはるかに超えた幸福のうちに我々を包みこむ。

火の偉大なるリズムがニルヴァーナの言語に絶する領域に侵入すると、ダルマカヤ（法身仏）のロ  
ープと卓越のマントを纏い堂々とした面持ちの豎達が、彼らの歌声と共にマハヴァンタラ（宇宙の一  
日）に宇宙を維持する「マハヴァン」と「チョタパン」の甘美なメロディーを伴奏する。

教えを授ける者は学徒がニルヴァーナへ入場する前、最後の真理を伝えなければならない。

導く者は学徒がニルヴァーナへの入場前ニルヴァーナの高等密儀を教えなければならない。

ニルヴァーナは宇宙と人類への永遠なる忘却である。

神々と他のマハヴァンタラは表現しようのないほど幸福な状態でそこに住まわれる。そこでは一滴  
の涙さえ消えうせ、「存在の本質」の幸福のみが君臨する。

Nirvania  
ニルヴァーナの住人は肉体、エーテル体、アストラル体、メンタル体と呼ばれるこれら四つの罪な  
る体をどれ一つとして持たない。マスターはこれらの体からサイキックな抽出物のみをニルヴァーナ  
の入場前に取り出し、吸収、同化する。

ニルヴァーナの住人は惑星の父達のもとで働く。

総ての人間の「内なる存在」は惑星の天才の息子達であり、地上の人間の数ほど天上には父達が存在  
する。

転生ごとに人は違った星の下に生まれるので、エゴは少しずつ転じて行く。しかし、我々の内側を  
司る星は決して変わらない。即ち、我々の父なる星である。彼は天にいます我らの聖なる父である。  
ISBENER ALDANEは次のように述べている。「私は星々を見上げる、援助はそこから来る、しかし、私  
は常に私の内側を導く星に従う。」

pralaya  
「ブララーヤ」の深遠な夜の後、マハヴァンタラの曙に太陽系の心臓は鼓動を始める。偉大なる気  
息のいまだ表現されていない最初のロゴスがアカシャ（空）を受胎させる。我々の七つの惑星のロゴ  
スはアカシャ、生命の火の原初ものを形造りながら渦巻き、湧き立つ——我々が進化するための、  
この太陽系を建設するために。

Parabrahmatman  
これら崇高な生命の建築家達は、常におおい隠れた永遠の父、「絶対」と呼ぶもの、至高のパラブ  
ラハトマンの、単なる無意識の「光線」にしか我々がすぎないことを知っていた。気高いブラジパテ  
イスー高次の天使達とは、「モナド」あるいは「内なる存在」と呼ぶものと共に、絶対の無意識の光  
授けた者である。

ひとりひとりに自分の「内なる存在」があり、あらゆる「内なる存在」にそれを創造した父がいる。

即ち天にまします我らの父である。

Aun Mani Padme Jum

アウン・マニ・パドメー・フーム、このマントラは秘教的に次のように発音される。

O m M a s i Padme Yom

「オーム・マーシー・パドメー・ヨム」（音節に分けながら、各音を伸ばす。）

このマントラの意味は「おお、我が神、我が内に」である。

このマントラは深い瞑想の内に、「内なる存在」へ礼賛をこめて、敬いながら、ハートで唱えるべきである。なぜなら内なる存在はまさに我らの父の霊が、我々内に具現したもの、我々の聖なる個性であるからである。苦しみも涙も痛みも存在しないニルヴァーナの、無限なる言語に絶する幸福に入るためには、我々は自分自身を内なる存在に同化させなければならない。

我らの主、クリストが教えられた折りである。

「天にいます我らの父よ、御名が崇められますように。御国が来ますように。みこころが天に行なわれるとおりに、地にも行なわれますように。私達の日ごとの食物を、今日もお与え下さい。私達に負債のある者を許しましたように、私達の負債をもお許し下さい。私達を試みに会わせないで、悪しき者からお救い下さい。アーメン。」  
(マタイによる福音書 第6章 第9節～13節)

この祈りは我らの「内なる存在」の来た神聖なる星を敬いながら、深い瞑想の内に行なう。そして、我々は秘密の内在する我らの聖なる父と語ることを学ぶであろう。

多くの人が言うかもしれない、「では、天にまします我らの聖なる父はどのように、どういう方法で我々を創造なさったのか？」と。

それはこういう事である。

聖なる父は先ず初め、一つの燃えさかる火の炎である。炎というものは、そこから火花が一つ一つ飛び出し、それぞれ成長、発達、進化、独立するのを可能にする。炎を観察してみると、炎はどこにでも広がり、その火花の一つ一つがまた独立した一つの炎になることがわかるだろう。

マハヴァンタラの曙をこのように考えると、あなた方の惑星の父達があなた方をどのように創造されたかが理解できるであろう。

そこで今度は火花の一つ一つには、それぞれにつながっている光線がある、と考える。すると火花と光の関係、そして我々の神聖なる火花と、我々が属す「絶対」の光線との関係が理解できるであろう。「絶対」の光からの光線は、我々の「栄光 (GLORIAN)」である。

「我らの栄光」は栄光自らも深く知ることのない氣息である。

我々の「栄光」は「絶対」の氣息である。

神聖なるモノダを持つ前、それはそれ自身の意識が無かった。その意識は「絶対」の意識と共にあったので、「我は我なり」と言うことができなかった。

しかし今、我々ひとりひとりの「栄光」は「<sup>divine</sup>神聖我」を授けられたゆえ、「栄光」は「我は我なり」「我は絶対なり」我は「ここに在り」と言うことができる。そして、幸福に酔いしれ、宇宙の夜の訪れる時至高なる「絶対」の幸福の大海に沈む。それは、新しいマハヴァンタラの曙の始まる時の聖なる神のように、深い休息から再び起き上がるためである。そして、神聖な炎である我々一人一人は火が広がるごとく広がっていくであろう。そしてまた、我々から出た神聖な火花の一つ一つは石になり、植物になり、動物になり、人間になり、天使になっていくであろう。炎になった我々の各火花は我々を愛し、敬い、高らかに歌うであろう、永久に、アーメン、「アレルヤ（ハレルヤ）、アレルヤ、アレルヤ」。その祈りは愛に満ちた、たとえようもなく芳しい香水のように我々に達するであろう。

このようにして我々は、我らの父達が我々に成したと同じことを我々の「火の子達」に成すであろう。

天にいます聖なる父から直接の教えを受ける為、学徒が彼の聖なる父のもとヘアストラル体で訪れることは大変有意義である。

この地上に降りる時、惑星の光線は色、音、そしてやがては金属に凝縮する金属要素を産む。金属要素は進化して植物要素となる。植物要素は動物要素に変換する。動物要素は最終的に神聖な火花を目覚めさせ、初めて人間に具現する。人は人を創造したその父に再び戻るために天使となる。

この旅程の純潔な火花のすべての降下と上昇はヤコブの夢にある梯子はしごによって象徴される。（創世記 第28章 第10節）

鉄は何を象徴するのか？ そこで進化する「サマエル・火星」の靈  
銅は？ そこで進化する「ウリエル・金星」の靈  
鉛は？ そこで進化する「オリフィエル・土星」の靈  
金は？ そこで進化する「ミカエル・太陽」の靈  
銀は？ そこで進化する「ガブリエル・月」の靈  
錫は？ そこで進化する「サチャリエル・木星」の靈

生命のこの総ての変遷は全自然界で中国のゴングと共に鳴り響く。

宇宙の夜が訪れると共に、炎となったすべての火花はその父のもとに帰る。そしてその父達は涙も苦痛も存在しない「絶対」の限り無き天上の喜びに沈むため、表現できないロゴスへと帰る。「絶対」では我々はすべて「一なるもの」である、そこではすべて、「神聖なるもの」、「名前なき」、<sup>that</sup>「それ」、「あれ」、<sup>that</sup>「それ」である。

この生命の変遷は、最古の聖典「ヴェーダ」ではっきりと記されている。これは古代の振り子の法則である。

これまで人類の生命の歴史にはいくつか「惑星の瞬間」があった。その時、偉大なる天才の惑星の父は、精神的文化の新しいサイクルを創始するため彼自身語り、自らを表現することができた。

私、サマエル アウン ベオールは「サマエル・火星」の息子、道具であるにすぎない。私があなた方に教えることは私の父の叡知である。

各人は天にいます父からの霊（魂）的アストラル的に受け継いだものを持つ。

メンタル機能、感情機能、心理的機能、精神的機能、の総ては物理的惑星によるものではなく、惑星の天才団に由来する、原因の秤の持つオカルト的屬性により影響を受ける。従って、繰り返し述べるが、我々、真の占星学者は数学的占星学に関心はない。

黄道帯の子宮の中で太陽系は発達する。24人の長老と12人のゾディアック天使団は惑星の光線を通して太陽系から働く。

黄道帯の12星座は次のように2人ずつの長老によって司られる。

白羊宮（牡羊座）	—	サタアラン	・	サラヒエル
金牛宮（牡牛座）	—	バグダッド	・	アラシエル
双子宮（双子座）	—	サグラス	・	サラリエル
巨蟹宮（蟹座）	—	ラムダー	・	ファキエル
獅子宮（獅子座）	—	サグハム	・	セラティエル
処女宮（乙女座）	—	イアダラ	・	スカルティエル
天秤宮（天秤座）	—	グラスガルベン	・	ハダキエル
天蠍宮（蠍座）	—	リコル	・	サイサイエル
人馬宮（射手座）	—	ヴォリ	・	サリタイエル
磨羯宮（山羊座）	—	サグドロン	・	セマキエル
宝瓶宮（水瓶座）	—	アルチエル	・	サクマクレル
双魚宮（魚座）	—	ラサモサ	・	ウアカビエル

以上が黄道帯12宮の星座を司る24人の長老である。各星座のエクササイズの間、共にブラクティスをする天才の惑星の寺院を訪れるべきである。つまり、牡羊座の間、牡羊座の天才を訪問し、牡

牛座の間は牡牛座の天才を訪問する、などである。これらの天才が来て、ワークしている惑星に相応するあなたの器官を治療するよう折りながらである。

24人の長老は時々、地球のハートの寺院において神の小羊の周りに会合する。

我々の持つ12の機能、12の感覚は我々の内側にある黄道帯の12の機能である。言語に絶する神々となるため、我々はこれらのエクササイズを通して、我々の黄道帯の火花を造らなければならない。

我々の体全体は自然界の七つの母音が絶え間なく鳴り響くべき<sup>ハーブ</sup>豎琴である。魚座の間、これら七つの母音を次のように発音する必要がある。

イ——( i i i i i i )  
エ——( e e e e e e )  
オ——( o o o o o o )  
ウ——( u u u u u u )  
ア——( a a a a a a )  
ム——( m m m m m m )  
ス——( s s s s s s )

各母音の音を我々の頭頂から足先まで響かせる。マスター・ウィラコッチャは毎日1時間の発音は東洋の神智学の本を百万冊読む以上に値すると述べている。

魚座は足に影響を与える。足は地球の天才から上昇するエネルギー<sup>ふるい(コナなどもふるいかける)</sup>が流れる篩である。

過去生は我々の足のその腺に書かれている。宇宙の神聖な救世主によって執り行なわれる洗足の儀式の意味するところは、「神聖な神の小羊」がその血で我々の過去の過ちを洗い流す為に来たということである。

クリストは世界の罪を洗い浄める神の小羊である。

ニルヴァーナに入る為のキーは完全なる清浄の中に在る、完全なる純潔の中に在る。

学徒は天空のサインを学ばなければならない。ローマ皇帝—ジュリアス・シーザーの妻は星が落ちる夢を見て、シーザーを救おうとしたが彼は妻の言うことを聴こうとしなかった。そしてローマ神殿に入った時、彼は暗殺された。

ヒットラーが戦争を開始した時、私は超視覚的に、真昼の明るさの中で二つの黄色い星が互いに離れるのを観た。

アトランティス時代、物質界に七つの重要な神託所が存在した。そこで人々は星々の叡知を学び、惑星の神々に助言を求めた。それら神秘の門番は偉大なイニシエート達であった。火星の神託所では、<sup>オカルティズム</sup>火星の神秘学が教えられた。木星の神託所では木星の宗教が、金星の神託所では芸術と金星の智慧が、土星の神託所では土星の叡知が、月の神託所では月の神秘学が、水星の神託所では水星の叡知が、そして太陽の神託所では我々のノスティック叡知が教えられた。

古代の祭司は徒弟に天空（フィラメント）の解釈法を教えた。それらのサインは哲学的類比の法に基づいて解釈された。例えば、超視覚で黒い星々を見たら、それはあなたにとって失敗がおこる。友人が旅に出る時、天から星が落ちるのを見たら、その友人のお葬式がある。星が誰かの上に落ちたり、或いは誰か重要な人に近づいたら、その人は死ぬであろう。放浪する星があなたの前を不意に通過したら、誰かがあなたから去る。二つの黄色い星が互いに離れたら、それは「戦争」を意味する。

<sup>エテリック</sup>秘教的研究の間、あなた方はある惑星の天才の指導下にあろう。彼らはあなた方にわかる、光り輝くサインによって呼ぶであろう。あなた方はそのサインを見つけることも学ぶであろう。惑星の父があなた方を呼び光の神秘を教示する時、その父の星からの火花についても又、理解しよう。

あなた方が今日住む地球は非常に重密度だが、遠い将来、エテリックになり、そして我々は涙も苦痛も存在しない惑星のエルサレムを持つであろう。その時には、北半球を通して世界に大変な苦しみをもたらしているオリオン星座は、歓喜と幸福で世界を満たし光輝くであろう。

「その後、わたしが見ていると、見よ、開いた門が天にあった。そして、さきにラッパのような声でわたしに呼びかけるのを聞いた初めの声が、『ここに上<sup>のぼ</sup>ってきなさい。そうしたら、これから後に起こるべきことを、見せて上げよう。』と言った。」

「すると、たちまち、わたしは<sup>みたま</sup>御霊を感じた。見よ、<sup>みざ</sup>御座が天に設けられており、その御座にいます方があった。」

「その座にいます方は、<sup>へきぎよく</sup>碧玉や赤めのうのように見え、また、御座のまわりには、エメラルド（緑玉）のように見える虹が現われていた。」

「また、御座のまわりは二十四の座があつて、二十四人の長老が<sup>ころも</sup>白い衣を見に纏い、<sup>ま</sup>頭に金の冠をかぶって、それらの座についていた。」

「御座からは、稲妻ともろもろの声と雷鳴とが発していた。また、七つのともし火が、御座の前で燃えていた。これらは神の七つの霊である。」

「御座の前は、水晶に似たガラスの海のようにであった。御座のそば近くそのまわりには、四つの生き物がいたが、その前にも後にも、一面に目がついていた。」

「第一の生き物は獅子のようであり、第二の生き物は雄牛のようであり、第三の生き物は人のような顔をしており、第四の生き物は飛ぶ鷲のようであった。」

「この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、その翼のまわりも内側も目で満ちていた。そして、昼も夜も絶え間なくこう叫び続けていた。『聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな。全能者にして主なる神。昔いまし、今いまし、やがてきたるべき者。』と。」

「これらの生き物が、御座にいまし、かつ、世々限りなく生きておられる方に、栄光と誉れとを帰し、また、感謝を捧げている時、

二十四人の長老は、御座にいます方の御前にひれ伏し、世々限りなく生きておられる方を拝み、彼らの冠を御座の前に、投げ出して言った。

『我らの主なる神よ、あなたこそは、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方。あなたは万物を造られました。御旨によって、万物は存在し、また造られたのであります。』」

(ヨハネの黙示録 第4章)

最も深い平和があなた方のハートに君臨しますように。

サマエル アウン ペオール

## 分析的要約

### 第一課 — 白羊宮（牡羊座）

ここでは、自分自身を頭頂から足先まで完全にクリスト化する為、どのように、どういう方法で聖杯（脳）をクリスティックな光で満たすかを教授した。紛れもなく！明らかにその光とは、精液をエネルギーに変換することによって生じるクリストニックな精液、クリスティック・エネルギーそのものである。賢明なるアインシュタインも既に証明している。

[訳者注：  $E(\text{エネルギー}) = M(\text{質量}) \cdot C^2(\text{速度})$  の法則について言っているものと思われる]

この課は姦淫 [性(E) 消耗] の絶対の禁止について述べることから始めた。

姦淫の禁止は学徒がクリスティック・エネルギーを蓄積し、より深く自分自身を認識するためのものである。

「クリスト化」獲得の為、クリスティック・エネルギーは我々有機体の十二の黄道帯を通過しなければならない。性エネルギーが生殖器から上昇した後、クリストニック・エネルギーが最初に通過しなければならない扉は、頭に位置する白羊宮（牡羊座）である。

脳において、我々のクリスティックな精液は牡羊座の光で充電される。

そしてクリスティック・エネルギーは喉、胸腺、ハート等へと黄道帯の影響を受けながら進み続ける。

その精液の流れについて、聖なるノスティック塗油式を司った十二弟子のマルコは美しく描写している。

### 第二課 — 金牛宮（牡牛座）

この課では創造的言葉のパワーについて教えた。喉頭はことばを身ごもる性的子宮である。

人は生殖器による姦淫のみならず、ことばによっても姦淫を犯す。悪口や中傷は姦淫に他ならない。

完全なる人は、彼の「内なる存在」が語らない時には沈黙を守ることを知っている。

牡牛座では喉頭のゴミを燃やさなければならない。天使達の喉頭のように、クリスティック・エネルギーが喉頭を通して表現できるようにである。天使達はことばを使って創造する。

### 第三課 — 双子宮（双子座）

12世紀初頭、ノルベール（フランス、ブレモントレ修道会-1119-の創始者）という僧がヨーロッパにおいて宗教的特質の修道会を創立した。それ以前の彼は不道德と欽廉にのみもっぱら熱中する世俗の欲に耽る男であった。ところがある日、彼は光に打ちつけられた。死に到りはしなかったが、彼の存在全体が完全に変換された。この出来事は偶然に、またはたまたま起こったのではない。それは神々が引き起こしたコスミックな事象であった。なぜならこの男は、新しい職務を成し、意識（良心）<sup>conscience</sup>の新しい文化の時代を創始し、世界のカルマを示すように運命づけられていたからである。かの男の肉体、アストラル体、メンタル体すべての体液の鎖は光線から受けた「ショック」によって完全に<sup>consciousness</sup>変化した。外的ショック—それは水瓶座の時、最高に輝くであろう—新しい意識を彼に残した。

1889年迄、しばしばそのような外的ショックはよく起こった。なぜなら、実際のところ、十八、十九世紀に内的世界に入る事は、ほとんど不可能であったからである。自然界は人類が内的世界へ入るための扉を閉じていた。それは人類が後に異なった、ポジティブな方法で内的世界に入る為、その暗黒の時代を通過する必要があったからである。

このような外的ショックのみが、いくつかの進化した魂達を内的世界へ接近させうるものであった。

1889年、「カリユガ（暗黒時代）」の最初のサイクルが終わった。それ以後、これら「外的サイキック」ショックは内的なものとなった。

双子座のレッスンではポジティブな形で内的世界への入り方を教えた。

遙か以前レムリア、アトランティスの時代、総ての人類は内的世界に住んでいたが、それはネガティブな形であった。アストラルのチャクラは左回りで、つまり、ネガティブ（逆回り）であった。人類の意識は我々が夢と呼ぶものの中で持つ意識に似ていた。夢の中の意識は動物界、植物界、鉱物界と同じ意識である。

双子座のエクササイズによって夢の中の「絵的」意識（良心）を、自覚した、完全に目覚めた意識（良心）へと変換する。

これらのエクササイズは持続する意識（良心）、新しい水瓶座の意識（良心）を我々に授ける。

内的世界で眠っている学徒は今や意識（良心）を目覚めさせ、夢を見なくなるであろう。彼は、「

夢」を意識ある経験に変えるであろう。

これらのエクササイズは彼の意識（良心）を覚醒する内的ショックを生み出すであろう。そして、夢を内的世界の真実の実際の経験に変えるであろう。従って、肉体がベッドで眠っている間、学徒は内的世界における不可視の援助となり、宇宙白友愛同盟の命令のもとに働く者となろう。以前、チャクラは左回りであったが、このエクササイズにより時計の針回りのポジティブな方向に回転するであろう。このエクササイズにより再び夢を見ることは妨げられ、肉体が眠っている間、内的世界で意識が目覚めているようになる。それがこのエクササイズで得られることである。夢の中の意識（良心）は我々がかつて持っていた動物意識の残骸である。動物は絵的夢生活を生きる。

意のままにアストラル体で「出る」ことが難しい者も多くあろう。しかし、確かに双子座のエクササイズは彼らの意識を「必然的に」目覚めさせる。そして、肉体がベッドで眠っている間も彼らは、内的世界で意識を持って働くようになるであろう。重要なことは目覚めの時、「もはや夢ではなく」「意識ある経験」であるアストラル界の経験を良く覚えていることである。これを獲得するには目が覚めても動かずに、肉体の外にいた時なした総てのことを思い出す回想のエクササイズをしなければならない。眠りの間、意識が眠っている者は「夢を見て」おり、意識が目覚めている者は意識を持って「働いて」いるのである。

#### 第四課 — 巨蟹宮（蟹座）

この課では、学徒に実用的魔術に適応する肉体を準備するよう教えた。

偉大な降神術師、イアンブリクスはかつて、驚く群衆を前に二人の天才、「愛」と「愛に敵対するもの」（アナエルとリリット）を顕現させた。

イアンブリクスは惑星の神々を可視化し、実体化させた。これは肉体を「準備」することによって、学徒も又、成しうることである。

人類が月の <sup>forces</sup> 力の操作法を習得した時、月は地球の上に落ちるであろう。なぜなら人類はもはや月を必要としなくなるからである。

#### 第五課 — 獅子座（獅子座）

ここでは内なる瞑想を通して学徒自身が内なるマスターと語るすべを教えた。

ダラナ（集中）アヤナ（瞑想）サマディ（三昧、恍惚）は、各人の内なるマスター「内なる存在」の玉座へと我々を導く三つのステップである。

学徒は自身の「内なる存在」と語る方法を学ばなければならない。自分自身の内なる存在を求めていなければならない。

学徒は自身の「内なる存在」から教えを受けるべきである。内なる存在の任務はボディサットヴァ（菩薩）を導くこと、つまり光を切望する霊を導くことである。

「SHIN-SHIN」の教義は、人類のマインドは塵の原子を一つ一つ引きつけ、そして反射する鏡の如くであると教えている。「クリスト・マインド」になる迄、毎日、鏡の埃を払い続けなくてはならない。

SHIN-SHIN は中国北部の第六代道祖で、「菩提達磨（<sup>Bodhidharma</sup>達磨大師）」の秘教的教義を教えた。

サンスクリットではハートの内なる室は「ブラマ・ブラ（至高の神の都市）」と呼ばれる。学徒はサマディのマスターとならなければならない。菩提達磨は中国の叡知の宗教である。

心の教義は真理のしるし、真の「しるし」と呼ばれる。

#### 第六課 — 処女宮（乙女座）

このレッスンでは地から上昇したエネルギーを腹部で副腎ホルモンによって充電し、さらにハートへ上昇する準備へと導くことを説いた。又、太陽神経叢すなわち感情の脳のチャクラを開発するため、母音ウ（U）を唱えることも教えた。

太陽神経叢は離れたところの想念を受けるアンテナであり、我々はそれによって我々と社会的、商業的關係をもつ人達すべての道徳的（精神的）状態を感じる取ることができる。

#### 第七課 — 天秤宮（天秤座）

ここでは<sup>バランス</sup>平衡の法を教えた。

自然界の三属性が霊を自然界の奴隷と化する。

<sup>ハーモニー</sup>調和、感情、惰性（慣性）

これら三つの自然界の属性。この宇宙の存在以前には、アカシャとプラナのみが存在した。

これらはサトゥワ、ラヤス、タマスの三属性である。調和と感情そして惰性は完全な均衡のもとに存在した。しかしその均衡が失われた時、自然界の偉大なバランス運動、満潮と干潮、善と悪、愛と憎しみ等が起り始めた。その時、人類の内なる存在はこの自然なる大宇宙の一員となったのである。ここで我々は元の状態に戻り、進化した。自然力から自由になりたければ、我々は調和、感情、惰性と呼ばれる自然の三属性を超越しなければならない。

我々は成功と失敗、苦と楽、称賛と侮辱を前にして中立でいなければならない。自然界全体が再び原初の平衡に出合う時、大陸は海に沈み、多くの火災が起こり、海水は蒸発を始め、蒸気は原子組成を分解するであろう。三百十一兆四百億年続くマハヴァンタラの活動の後、総ては原初のアカシャへと、コスミックナイトへと、偉大なる宇宙的バランスをもつ原始の平衡へと戻るであろう。

## 第八課 — 天蠍宮（蠍座）

この課では学徒に性の秘儀によるクンダリーニの覚醒法を教えた。

叡知のドラゴンが蛇の科学により形成される。「ドラゴンの木」とは蛇の叡知と同じものである。

アカシャはスシュムナ管を通して循環する。その二局面はイダとピンガラを通して流れる。これがブラフマの管と呼ばれるものである。

イダとピンガラ二本の管はジャキンとボアスと呼ばれるフリーメーソンのJとBの二本の柱である。二つの神経管を通して、太陽エネルギーと月エネルギーは上昇し、尾髄骨で接触し「ヒラム」——ソロモンの寺院（内なる存在）を建てるための聖なる火——を覚醒する。

「ヒラム（HIRAM）」は、またクンダリーニのマントラでもある。Hは、溜め息のように、Iは、iiiiiiiと、残りの音は、rrrrraaaaaammmmmと発音する。

火は七段階のパワーを持つ。それは火のパワーの七段階、知識の七段階である。性の秘儀は我々を全能なる火のドラゴンへと変換する。

## 第九課 — 人馬宮（射手座）

ここでは聖なるカバラについて語った。何故なら、射手座は超視覚と理解のサインだからである。

二種類のカバリスト、理性のカバリストと直観のカバリストがあると説明した。理性は内なるマスターに対する不従順と「冒瀆」の罪である。これが理性のカバリストは黒魔術師であるゆえんである。

偉大な直観のカバリストは論理立てない。彼らは聖なるタロットカードを見て、直覚で理解し、沈黙の声を聞く。

## 第十課 — 磨羯宮（山羊座）

真正な惑星順列とローマ・カトリック教会によって変造、変更されてしまった正当なカレンダー（暦）について語った。

我々は暗黒の時代の占星術は変造されたカレンダーに基づくと考えるので、算術的占星術はもはや水瓶座の時代には適用しないと信じる。

このレッスンでは両性具有者は「胚種」によって繁殖し、それらはふくらはぎから分離すると説明した。

この断言は多くの人には、途方もないことに聞こえるかもしれない。しかし、超視覚者はアカシック・レコードを自分自身で調査し、我々の断言を立証できるであろう。

未来の女性は男性を経ずに懐胎するであろう。未来の両性具有者はことばによって自身の体を創造するであろう。

大交感神経系は第二の脊柱となり、その時代の天使人間は父もなく母もなく血筋のない、火の王メルキセデックのようになろう。彼は、永遠に永久に司祭であり続ける。

## 第十二課 — 双魚宮（魚座）

このレッスンでは広くニルヴァーナ（涅槃）について語った。

私はニルヴァーナは我々の脊髄と精液のパワーを最大限に使用して獲得できると立証する。

性の秘儀を実践する者は誰でもダルマカヤ（法身仏）の輝く衣を建設し始める。ダルマカヤのロープは性の火で織られている。

正しく生かすのであるなら、ニルヴァーナは一回の転生で勝ち得ることができる。サマエル・アウン・ベオールは、あなた方が早急に、数年の内にニルヴァーナを勝ち得ようこのコースを正確に伝えた。私はただの私の模倣者である後援者や、追従者を欲しているのではない。

私は特定の宗派やまた別の信仰から来たのでもなければ、現代の学派や誰かの特別な宗教にも関心はない。私は新時代の創始者である。水瓶座のアヴァターラである。

多くの「結社」や精神主義の学校の長達はオウム返しに語られる「講堂」に油断なく心を配り、私に対する戦いを宣言した。サマエル・アウン・ベオールは「講堂」にも、ビジネスにも霊的な商売にも関心はない。

このコースはすべての人間が全能なる神、火の神々、神聖な炎になることが出来るよう伝えた。

私は弱虫や臆病者を見たくない。偉大なる決断の時は来た。雄々しい人、勇士、勇者が必要なのである。

利己的な者はもはや必要としない。墮落者も、卑怯者も必要としない。

我々は精液にニルヴァーナを持つ。そして勇気によってのみ我々の内にそれを認識できる。今や、鋼鉄の人、勇者たる者、自由の人が必要なのである。我々は常に力強い全能なる自身と、パワフルで強固なパーソナリティを持つ必要がある。

私はニルヴァーナを知っている。ニルヴァーナの総ての住人は力強く、たくましくパワフルな人格を持つ全能なる神々なのである。

あなた方が平和と共にありますように。

サマエル・アウン・ペオール